

西 曆	和 曆	主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事	
1391年	明德二年	その他	東西九条女御田年貢算用状	教王 2-671	注進東西九条女御田御年貢…除…三石二升九合一勺六才九条新河成／十一石五斗七升八合一勺二才 鳥羽新河成并無地／一石一斗六升六合六勺 竹田新川成／八斗六升七合小枝河成／四石七斗六升 当年深草損亡／五斗三升三合七勺 西山定損自当年始之／已上六十一石六斗四升二合七	
1392年	明德三年	疫病	常楽記	日本震災凶謹攷	諸国疫癘人多死	
1393年	7, 8 月 (7.18-8.15)	明德四年 六月	旱魃・渴水	武家年代記裏書	統史料大成 18	天下大飢、六七月之間旱、
1393年	7, 8 月 (7.18-8.15)	明德四年 六月	旱魃・渴水	如是院年代記	新校群書類従 20-P264	自六月、至七月、大旱、
1396年	応永三年	その他	東西九条女御田年貢名寄帳写	教王 2-741	東西九条女御田御年貢米名寄帳応永三年…鳥羽分…一石四升一段水損応永三注進内／九斗損亡九段分／一石四升一段水損重敷申…／水損二段河成二段申上、但下地不シンノ間、ステラレ候了、水損事者当年斗間、御免有ヘキカ、今	
1396年	応永三年	その他	東西九条女御田年貢算用状	教王 2-743	注進 東西九条女御田御年貢散用事 応永三年…除…十一石五斗七升八合一勺二才 鳥羽新川成無地／一石一斗六升六合六勺竹田新川成／八斗六升七合小枝川成／五斗半石七斗六升二合六勺 当年鳥羽損亡段別一斗定／二石九斗	
1397年	応永四年	旱魃・渴水	武家年代記裏書	統史料大成 18	旱損	
1400年	1月1日	応永七年 十二月八日	洪水	山城国上桂上野庄下司分河成并沽却地坪付注進状	教王 3-793	注進 桂上野御庄内下司分河成并永代沽却下地…／一、河成分…以上七反三百歩内／但下司給四段／右注進如件
1401年	応永八年	その他	山城国上下久世庄年貢并公事銭算用状	教王 3-812	一、下久世庄御年貢米事／…二石応永八損亡…	
1401年	4月21日	応永八年 二月二十九日	火災	興福寺略年代記・薩戒記・迎陽記・日本野史	日本災異志	寅刻、土御門内裏火代々宸記和漢奇機皆灰燼
1401年	8月22日	応永八年 七月四日	火災	椿葉記・室町御幸記・日本野史	日本災異志	伏見殿火、歴世旧記文書楽局盪盡
1401年	7, 8 月 (7.21-8.18)	応永八年 六月	洪水	山城国上桂庄田教注文案	教王 3-806	東寺領山城国葛野郡上桂庄田教事／合七町三百歩内／除一町一反三百歩 河成
1401年	8, 9 月 (8.19-9.16)	応永八年 七月	洪水	日本野史	日本災異志	京都洪水
1402年	11月2日	応永九年 九月二十八日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 七〇頁	思文閣出版	一、上野損亡事、二石分可許之由治定云々、
1402年	11月17日	応永九年 十月十三日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 七一頁	思文閣出版	一、近辺損亡事、不可免之云々、
1404年	応永十一年	洪水	山城国拜師庄年貢算用状案	教王 3-864	注進 拜師庄応永十一年御年貢散用事…〔 〕 石一斗六升二合 新川成 (ほか三筆)	
1404年	7月4日	応永十一年 五月十八日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 九二頁	思文閣出版	一、上野庄新井料事、去月新井料事、雖為少事、可下給之由、望申之間、披露処、天下大洪水、或旱魃之時者、給之、而非洪水、非旱魃、望申之条、無其謂、不可叫之由、下知之旨、評定了、

西 曆	和 曆	主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1404年 7月19日	応永十一年 六月三日	その他	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 九七頁	思文閣出版	一、上野庄井料事、去月新井料事、雖 歎申、無許容之処、先日洪水以外之間、 可給井料之由、百姓等、兩度罷上、歎 申之間、披露処、一石分可給之由、評 定了、
1404年 9月1日	応永十一年 七月十八日	防災：旱魃・渇水	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一〇二頁	思文閣出版	依炎旱祈雨事、被仰出之由、…
1405年 7月 (7.6-8.3)	応永十二年 六月	その他	南方紀伝下	改定史籍集 覧 3-41	祇園社鳥居倒
1405年 7月14日	応永十二年 六月九日	洪水	分類本朝年 代記・日本 野史	日本災異志	京都洪水
1405年 7月19日	応永十二年 六月十四日	その他	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一三三頁	思文閣出版	一、上野庄井料事、先日洪水以外之間、 給井料、可掘溝之由、申之間、任何懸 名主等、可致其沙汰之由、可成書下之 由、評定了、
1405年 10月18日	応永十二年 九月十六日	その他	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一三八頁	思文閣出版	一、上野庄井料并損亡事、井料事、連々 雖歎申、先立懸惣庄之名主、可有其沙 汰之由、被遣書下之間、以其分致沙汰 之処、寺家分可有御免之由、申之間、 先度、一石分為寺家御免了、重又申入 之条、雖不可然、度々歎申之間、三斗 分可有御免之由、評定了、又損亡事、 諸庄園無御免之
1405年 11月8日	応永十二年 十月八日	その他	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一四二頁	思文閣出版	一、寺辺水田損亡間事、百姓等連々歎 申之間、披露之処、不可叶之由、評定 了、
1406年 2月12日	応永十三年 一月十五日	火災	醍醐寺応永 十三年曆裏 書・和漢合 符	日本災異志	日吉二宮十禪師社火
1406年 2月13日	応永十三年 一月十六日	火災	曆裏書	日本災異志	京師火
1406年 4月29日	応永十三年 四月二日	その他	東寺百合天 地	東大史料写 真帳	[廿一口方評定引付 第 16 冊] 当年飢 饉以外
1406年 5月12日	応永十三年 四月十五日	その他	東寺百合天 地	東大史料写 真帳	[廿一口方評定引付 第 16 冊] 世間以 外飢饉
1406年 5月12日	応永十三年 四月十五日	その他	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一五五頁	思文閣出版	一、寺内蠶申、当年事、世間以外飢饉、 無是非之間、以別儀、以五百疋分科怠、 蒙御免者、可畏入之由、重歎申之間、 披露之処、如此連々歎申之上者、以 五百疋分、可有御免、就其、供僧中事、 悪様不申之上、職掌・中綱等、向後殊 可致奉公由、以起請文、可進請文之由、 可加下知之
1406年 9月26日	応永十三年 八月五日	洪水：その他	分類本朝年 代記・南朝 紀伝・日本 野史	日本災異志	京都大風洪水
1406年 10月15日	応永十三年 八月二十四日	その他：風害	如是院年代 記	新校群書類 従 20-P264	終夜大風、
1406年 10月16日	応永十三年 八月二十五日	風害	教言卿記	改定史籍集 覧 24-P444	去夜丑刻ヨリ、大風、卯一点マテ吹、 無是非事也、凡此風ニ官司顛倒、北山 殿惣門花山四足、其外、諸家車宿以下、 対屋等、破損希代事也、初丑寅風、後 東風也、
1406年 10月18日	応永十三年 八月二十七日	風害	東寺廿一口 供僧方評定 引付一 - 一六七頁	思文閣出版	一、御影堂風損失事、去廿四日夜大風、 小子坊転倒、西僧房渡廊以下、同転倒 了…
1406年 11月1日	応永十三年 九月十二日	火災	和漢合符	日本災異志	清水寺大火
1406年 3, 4月 (3.29-4.27)	応永十三年 三月	その他	南方紀伝	日本震災凶 饉攷	春、天下飢饉
1406年 3, 4月 (3.29-4.27)	応永十三年 三月	その他	文正年代記	日本震災凶 饉攷	春飢饉

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1407年		応永十四年		疫病	南方紀伝・日本野史	日本震災凶饑攷	諸国大に飢え該病流行す
1407年	4月23日	応永十四年	三月七日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 一七七頁	思文閣出版	一、上野井料間事、去年、依大雨、井口馳塞之間、可賜檢使之由、百姓烈(列)參、及度々申之間、公文所代若狭房・乗觀法橋、・乗喜下之、井口馳塞、大石流事、而無左右雖堀(掘)之、可為數百人煩之由、檢使申之、諸名主可合力之由、可被成書下之由、百姓參申之、先々井堀之
1407年	10月11日	応永十四年	九月一日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 一八三頁	思文閣出版	一、寺辺散在田地損亡事、百姓等、立稻毛、可歎申之由、申之処、誘種々、被刈稻了、就其、損亡事、所詮植松庄可被遺程、可下給之由、百姓等申之間、其分令披露了、(追加評定、寺辺下地、坊用樹三升充、免之了)
1407年 1408年	12月26日	応永十四年 応永十五年	十一月十八日	火災 疫病	和漢合符室町安土桃山時代医事年表	日本災異志 室町安土桃山時代医学史の研究	平岡八幡社火 諸国三日病流行
1408年	6月22日	応永十五年	五月十九日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 二〇五頁	思文閣出版	一、上野庄用水間事、当庄井、去年洪水之後、古井、水便不宜之間、別在所、水便可然之間、堀新井、当年旱魃過法之間、流末五ヶ庄沙汰人以下、遺恨無極、上野庄堀新井、任雅意取用水之段、不可然之由、申之、率大勢、切塞井、然間当庄百姓、如元堀井、重可切塞之由、五ヶ庄荒
1408年	7月21日	応永十五年	六月十九日	防災：旱魃・渇水	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 二〇八頁	思文閣出版	一、祈雨并神泉苑掃除事、…
1408年	8月21日	応永十五年	七月二十一日	風害	教言卿記	改定史籍集覽 24-P481	山城郷ノ辻鳥居、十九日大風＝顛倒云々、今日注進之、
1410年	4月20日	応永十七年	三月七日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 二三一頁	思文閣出版	一、上野庄井堀事、彼庄新井、去年興大儀、堀入桂川、於当庄取用水之処、依去年八月洪水、馳塞之間、当年又、諸名主、一反別式斗充分、可合力于百姓之由、可相触云々、去年井料、諸名主、五斗充致沙汰処、西方(苔)寺、纔反別三百文充分、令沙汰、相残分、彼寺名主得分、百
1410年	9月8日	応永十七年	八月一日	風害：その他	日本野史	日本災異志	京都大風雨水、神社仏利多壞
1411年	6月 (6.1-6.30)	応永十八年	五月	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	五、六、大地震
1412年	6月10日	応永十九年	四月二十二日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 二六一頁	思文閣出版	一、(高井)祐尊法眼所望事、祐尊法眼云、当年計会、中々無是非次第也、所詮、自寺家、別而不預御不持者、可餓死仕之条、不能左右、平憑存之由、歎中間、披露之処、如去年、自五月、々別三斗充分可下行之由、衆儀了、
1413年	8月9日	応永二十年	七月四日	防災：旱魃・渇水	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 二九四頁	思文閣出版	一、近日以外炎旱間、祈雨御祈禱、可有其沙汰由、自御所(足利義持)被仰出、…
1413年	12月17日	応永二十年	十一月十五日	地震	如是院年代記	新校群書類従 20-P264	地大震、
1415年	7月28日	応永二十二年	六月十三日	その他：風害	南方紀伝下	改定史籍集覽 3-44	天寒如冬、大風雨
1415年	7月28日	応永二十二年	六月十三日	その他：風害：大雨	如是院年代記	新校群書類従 20-P264	日吉御輿依入洛、大風大雨、
1416年	2月23日	応永二十三年	一月十六日	火災	和漢合符	日本災異志	北山大塔火
1416年	8月3日	応永二十三年	七月一日	火災	和漢合符	日本災異志	院御所火
1416年	11月13日	応永二十二年	十月三日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 三六〇頁	思文閣出版	一、寺辺水田并寄進田損亡事、去比、大風・長雨、以外朽損之間、三分一可預御免之由、百姓歎申之、披露之処、段別五升分、可免之由、可加下知之旨、評議了、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1417年		応永二十四年		火災	和漢合符	日本災異志	河原院火
1418年	1月24日	応永二十五年	十二月十九日	火災	和漢合符	日本災異志	相国鎮守火
1419年	5月7日	応永二十六年	四月四日	防災：旱魃・渇水	康富記一	増補史料大成 37	御聞、今夜、祈雨奉幣被行由、俄被仰出云々、
1419年	10月26日	応永二十六年	九月二十八日	その他	寺辺水田風損注進状	教王 3-1034	(端裏書)「水田損亡事 応永廿六」…定納拾九石九斗四升六号六勺六才内 当年損免引之ノ…以上二石六斗六升 損免分ノ定米拾七石二斗八升六合六勺 六才ノ浮足分…以上二石三斗二升 損免分ノ定米十六石二斗三升ノ風損分あらあら注文
1419年	10, 11月 (10.28-11.26)	応永二十六年	十月	その他	諸仏事田損免注進状	教王 3-1038	諸仏事田損免記文事 応永廿六ノ…
1420年		応永二十七年		旱魃・渇水	歴仁以来年代記	統群書類従 29下-P231	天下大旱魃、
1420年	3月15日	応永二十七年	一月二十二日	その他	山城国上久世庄地頭職請文	教王 3-1048	謹請申 東寺八幡宮御領上久世庄地頭職ノ御年貢并御公事以下事ノ右去年用水ト、かざるに依候て、下地等少々 [ ] 処、御年貢公事等被召候はんするよし蒙仰…水ト、き候はざらん所をハ、畠にも作 [ ] 如作々、御年貢を備申候へく候…
1420年	6月9日	応永二十七年	四月十九日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 二二頁	史料纂集	祈雨奉幣也
1420年	6月25日	応永二十七年	五月六日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 二三頁	史料纂集	今日被行祈雨奉幣、
1420年	7月21日	応永二十七年	六月二日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 二三頁	史料纂集	今日被行祈雨奉幣、
1420年	8月16日	応永二十七年	六月二十八日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 二三頁	史料纂集	依祈雨、被仰南都、以興福寺僧六十口、於寮生龍衆有御説経…後聞、南都内甘雨滂沱云々、
1420年	8月20日	応永二十七年	七月二日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 二四頁	史料纂集	於神泉苑、依祈雨被修孔雀御説経
1420年	10月16日	応永二十七年	八月三十日	その他	康富記一	増補史料大成 37	予於丹州佐伯、隼人保田地事、相具百姓等内檢了、損亡事、言語道断之式也、
1420年	10, 11月 (10.17-11.14)	応永二十七年	九月	その他：大雨	薩戒記	日本震災凶饑攷	大雨風
1421年		応永二十八年		疫病	武家年代記裏書	統史料大成 18	春夏之交、天下飢饉疫病、人民死亡不可計數、於五条橋下施行、
1421年		応永二十八年		疫病	歴仁以来年代記	統群書類従 29下-P231	大飢饉・疫病、山野江河亡人充滿、
1421年	12月2日	応永二十八年	十月二十八日	旱魃・渇水	東寺百合ち	東寺文書 3	[廿一口方評定引付] 一、河原城庄損亡事ノ当所依旱魃、作毛無正躰之由、先日雖令申、去年事請切之地損免不可叶、雖然、天下一同異于例年之間、無力及損免御無沙汰了、於当年者、不可及披露之由、令返事之処、重而委細注進之間、披露之処、当所旱魃又以外之由申之、風聞之説
1423年	9月23日	応永三十年	八月十日	防災	康富記一	増補史料大成 37	今夕止雨奉幣、可參陣云々、
1423年	10月1日	応永三十年	八月十八日	防災：大雨	康富記一	増補史料大成 37	今日可被發遣止雨奉幣由、只今御教書到来候…
1423年	10月4日	応永三十年	八月二十一日	防災：大雨	康富記一	増補史料大成 37	今日又止雨奉幣也、…
1423年	10月28日	応永三十年	九月十五日	その他	康富記一	増補史料大成 37	霜台史越州下向、…為損亡檢使下向也
1424年		応永三十一年		疫病	南方紀伝	日本震災凶饑攷	此歳疫癘人多死
1424年		応永三十一年		旱魃・渇水：疫病	歴仁以来年代記	日本震災凶饑攷	是歳大旱飢疫病ノ相枕し棄山をなす
1425年	10月4日	応永三十二年	八月十四日	火災	和漢合符・如是院年代記	日本災異志	未刻、相国寺回祿
1425年	12月23日	応永三十二年	十一月五日	地震	師郷記一 - 六二頁	史料纂集	已剋大地震、諸人消魂、希代之動也、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1425年	12月23日	応永三十二年	十一月五日	地震	如是院年代記	新校群書類 従 20-P264	大地震
1425年	8, 9 月 (8.23-9.20)	応永三十二年	七月	地震：洪水	如是院年代記	新港群書類 従 20-P264	大地震、大風、洪水
1426年	3月3日	応永三十三年	一月十五日	火災	如是院年代記・日本野史	日本災異志	京都火
1427年		応永三十四年		その他	山城国上野庄東田井畠成田畠注進状	教王 4-1124	上野庄東田井、自去年仍（依）川成、当年畠成注進之事／…畠成以上二町二反三百五部（歩）此内／六反三百五十部当不作除之…
1427年		応永三十四年	春	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都洪水
1427年	7月5日	応永三十四年	六月二日	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都洪水
1427年	9月14日	応永三十四年	八月十四日	火災	和漢合符	日本災異志	官庁火
1427年	10月12日	応永三十四年	九月十三日	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都洪水
1428年	1月31日	正長一年	十二月十八日	洪水	東寺百合ち七	東寺文書 3	[二十一口方評定引付] …一、上野庄東田井、自去年（応永三十四年）依川成、当年之畠成、仍地子段別五百文定、但当年事者、新開之間、御免申、猶問答之最中也
1428年	7月13日	正長一年	五月二十二日	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都洪水
1428年	7月22日	正長一年	六月一日	洪水：その他	分類本朝年代記	日本災異志	京都大風、洪水
1428年	7月22日	正長一年	六月一日	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都洪水
1428年	10月19日	正長一年	九月二日	風害	正長元年記	続群書類従 29下 -P382	天晴、昨日大風、山中諸坊数ヶ所吹破、其外清滝宮辺、杉松以下、大木百本過顛倒、雖然、社頭拜殿并諸堂不苦、希代事也、
1428年	11月26日	正長一年	十月十日	風害	正長元年記	続群書類従 29下 -P385	去九月朔日大風、岩間山杉松数十本顛倒之間、被召寄之、
1428年	3, 4 月 (3.25-6.18)	正長一年	三月	火災：洪水	建内記一	大日本古記録	[持基改元申詞ノ案] …被用代始改元之条不可有子細歟、其条猶不可然者、官司炎上・洪水等事、近年災難之題目可被載詔書歟、可為、叡慮哉…
1429年	7月13日	正長二年	六月三日	防災	師郷記一 - 一〇八頁	史料纂集	止雨奉幣也、
1429年	8月9日	正長二年	六月三十日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 一〇九頁	史料纂集	祈雨奉幣、
1429年	8月10日	正長二年	七月一日	防災：旱魃・渇水	建内記二	大日本古記録	昨日、祈雨奉幣散状資親付之、仍進入畢…
1429年	8月10日	正長二年	七月一日	防災：旱魃・渇水	建内記二	大日本古記録	諸寺諸門跡等祈雨事、可触催之由、有御定…
1429年	9月25日	正長二年	八月十八日	洪水	山城国上野庄代官職契約状案	教王 4-1241	…彼庄正長二年八月十八日洪水ニ、井口井溝失、田地ハ川原、残ハ成畠、已十三ヶ年之間御年貢無一粒、然少々百消失、成亡所者也…
1430年	2月10日	永享二年	十二月十九日	洪水	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符	教王 4-1135	注進 上久世庄御年貢米算用状事／…一石六斗 流田／漆拾捌石 損免／…
1430年	6月29日	永享二年	五月三十日	防災：旱魃・渇水	師郷記一 - 一三七頁	史料纂集	今日祈雨奉幣、
1430年	9月14日	永享二年	八月十八日	その他：風害	日本野史 南朝紀伝	日本災異志	京都大風雨
1430年	9月14日	永享二年	八月十八日	洪水：風害	師郷記一 - 一四一頁	史料纂集	終夜甚雨、自天明大風、言語道断也、洛中洛外舍屋、皆以破損、官司西廊南門顛倒、東門北門破損云々、洪水又以外也、凶
1430年	9月14日	永享二年	八月十八日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類 従 20-P264	大風雨、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1430年	9月18日	永享二年	八月二十二日	洪水：その他	紀伝・日本野史	日本災異志	京都大風雨洪水
1430年	9月18日	永享二年	八月二十二日	洪水	如是院年代記	新校群書類従 20-P264	洪水
1430年	9月28日	永享二年	九月二日	洪水	紀伝・日本野史	日本災異志	京都又洪水
1430年	9月28日	永享二年	九月二日	風害	師郷記一 - 一四三頁	史料纂集	申剋大風、即時休、洛中洛外舎屋少々破損了、
1430年	10月6日	永享二年	九月十日	防災：大雨	師郷記一 - 一四三頁	史料纂集	今日止雨奉幣也、
1430年	11月14日	永享二年	十月十九日	防災：大雨	師郷記一 - 一四六頁	史料纂集	今夜有祈晴奉幣、
1430年	1, 2月 (1.23-2.21)	永享二年	十二月	洪水	山城国上久世庄年貢米算用状并公事銭算用状写	教王 4-1138	注進 上久世庄御年貢米算用状事／永享二年分／…一石六斗 流田／漆拾捌石 当年御免米／…
1431年	1月8日	永享三年	十一月二十六日	火災	看聞御記	日本災異志	京師火
1431年	2月8日	永享三年	十二月二十七日	その他	山城国上久世庄年貢算用状并未進徴符	教王 4-1144	注進 上久世庄御年貢散用状事／…捌石 流田御免分…
1431年	2月10日	永享三年	十二月二十九日	その他	山城国下久世庄年貢算用状	教王 4-1145	注進 東寺八幡宮御領下久世庄御年貢算用状／…一石五斗流田御免…
1431年	7月25日	永享三年	六月七日	防災：その他	師郷記一 - 一七八頁	史料纂集	雨降、今日止雨奉幣也、去月初、連日降雨之故也、
1431年	8月22日	永享三年	七月六日	その他	九条満家公引付	九条家歴世記録 2-P28	洛中洛外米商売事、余依高直売悉被召取了、依斬首可被切云々、依之米無商売、先代未聞事也
1431年	8月31日	永享三年	七月十五日	その他	師郷記一 - 一七八頁	史料纂集	近日洛中米商売無之、上下愁歎無極者也、
1432年	7月11日	永享四年	六月五日	防災：早魃・渇水	師郷記一 - 二〇五頁	史料纂集	今日被行祈雨奉幣也、
1433年	2月23日	永享五年	一月二十四日	地震	九条満家公引付	九条家歴世記録 2-P86	酉刻大地震、先代未聞也
1433年	2月23日	永享五年	一月二十四日	地震	師郷記二 - 十四頁	史料纂集	今日酉剋有大地震
1433年	2月23日	永享五年	一月二十四日	地震	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	大地震、
1433年	4月16日	永享五年	三月十七日	地震	師郷記二 - 三一頁	史料纂集	今日午剋有大地震
1433年	5月28日	永享五年	五月一日	防災：早魃・渇水	師郷記二 - 三七頁	史料纂集	今日祈雨奉幣也、
1433年	6月6日	永享五年	五月十日	防災：早魃・渇水	師郷記二 - 三七頁	史料纂集	今日祈雨奉幣也、
1433年	6月7日	永享五年	五月十一日	防災：早魃・渇水	師郷記二 - 三七頁	史料纂集	朝間雨降、此間祈雨御祈事、
1433年	8月6日	永享五年	七月十二日	防災：早魃・渇水	師郷記二 - 四〇頁	史料纂集	祈雨奉幣也、
1433年	10月3日	永享五年	九月九日	地震	異本塔寺長帳	原田信男 [中世東国災害史略年表]	日本大地震、民家倒壊、山崩谷埋
1434年	2月6日	永享六年	十二月二十九日	洪水	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符	教王 4-1171	注進 上久世庄御年貢米散用状事／…貳石 流田…
1434年	3月30日	永享六年	二月十一日	火災	如是院年代記・日本野史	日本災異志	京都大火
1434年	5月7日	永享六年	三月十九日	火災	和漢合符・如是院年代記	日本災異志	六角堂火

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1434年	5月9日	永享六年	三月二十一日	防災：旱魃・渇水	師郷記二 - 七三頁	史料纂集	祈雨奉幣
1434年	5月15日	永享六年	三月二十七日	防災：旱魃・渇水	師郷記二 - 七四頁	史料纂集	祈雨奉幣
1434年	9月2日	永享六年	七月二十日	防災：旱魃・渇水	師郷記二 - 七九頁	史料纂集	今日祈雨奉幣
1434年	10月13日	永享六年	九月二日	防災：大雨	師郷記二 - 八一頁	史料纂集	祈晴奉幣
1434年	10月16日	永享六年	九月五日	冷害・雪害	満濟准后日記	新修彦根市史 5	晴、時雨時々灑、天氣如十月、寒風又同前此四五日、毎朝霜降、江州辺降雪云々、希代、土民等云、白山御輿登山故云々
1435年		永享七年		その他	東寺鎮守八幡宮評定引付	青木虹二編 百姓一揆総合年表	東寺領上久世庄損亡、三原道浄以下列参
1435年	8月16日	永享七年	七月十三日	その他：風害	如是院年代記・日本野史	日本災異志	京都大風雨
1435年	8月16日	永享七年	七月十三日	風害	師郷記二 - 一一七頁	史料纂集	風雨以外甚、処々人家多以破損了、
1435年	8月16日	永享七年	七月十三日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類従 29 下 -P217	大風、
1435年	10月7日	永享七年	九月七日	洪水：その他	師郷記二 - 一二一頁	史料纂集	夜前甚雨、洪水以外之間、津 = [ ] 御逗留云々、
1436年	1月14日	永享八年	十一月二十九日	火災	日本野史	日本災異志	雲居寺、法観寺八坂塔火
1436年	3月7日	永享八年	二月十一日	洪水	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符	教王 4-1180	注進 上久世庄御年貢米之散用状事 / …壱石三斗 流田 / 六石 損免…
1436年	6月22日	永享八年	五月二十九日	冷害・雪害	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	凍雨、大如青梅、
1436年	11月27日	永享八年	十月十日	その他	山科家礼記 一	史料纂集	進上 鳥羽六段半御年貢事 / 合 / 御米 五石五斗二升五合内… / …一石一斗 そんまう
1437年		永享九年		その他	年代記	日本震災凶饑攷	諸国熟せず
1437年		永享九年		洪水	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符	教王 4-1194	注進 上久世庄御年貢米散用状事 / …十捌石六斗八升三合二勺 去 (永享九) 年流田進注文之、本流田加定、陸拾斛 損免 / …
1437年	7月7日	永享九年	五月二十五日	洪水：その他	師郷記二 - 一五五頁	史料纂集	止雨奉幣… / 今月中大略霖雨也、今日殊更甚雨、諸方洪水以外事云々、
1437年	7月27日	永享九年	六月十五日	洪水：その他	師郷記二 - 一五六頁	史料纂集	雨下、去夜終夜甚雨、今日洪水以外事也、
1437年	11月1日	永享九年	九月二十四日	その他	山城国上久世庄損田注進状写	教王 4-1191	(前欠、上久世庄) / …以上二町九反半 皆損分…
1437年	11月9日	永享九年	十月二日	その他	東寺百合ち 十一	東寺文書 4	[二十一口方評定引付] …一、下久世庄仏事田并三昧田阿弥陀坊田半損之由申、年預可相計之由畢
1437年	11月9日	永享九年	十月二日	その他	東寺百合ち 十一	東寺文書 4	[二十一口方評定引付] …一、寺辺水田損亡事中、更以不可叶之由、評儀畢
1437年	12月5日	永享九年	十月二十八日	その他	山科家礼記 一	史料纂集	進上 鳥羽六段半御年貢事… / 合五石五斗二升五合内… / …一石三斗 そんまう 段別二斗つゝ、
1437年	7, 8月 (7.13-8.10)	永享九年	六月	その他：大雨	年代記	日本震災凶饑攷	夏霖雨
1438年	2月22日	永享十年	一月十九日	その他	東寺百合ち 十二	東寺文書 4	[二十一口方評定引付] …当年事以外饑饉之年、子屋家可立之由可申段、不便之次第也

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1438年	5月4日	永享十年	四月一日	疫病	東寺百合ち十二	東寺文書4	[二十一口方評定引付] 一、当年依疫疾御祈禱事／当年自正月之比、洛中以外疫疾流布、仍或者既死人輩不知数、病人満巷、言語道断之次第也、仍於西院、心経会三ヶ度被行、其外又於鎮守千巻読経…
1438年	7月1日	永享十年	五月三十日	疫病	師郷記二 - 二〇六頁	史料纂集	天下飢饉、病事以外事也、饑蒙充道路、洛中日々有病死者言語道断云々、
1438年	8月3日	永享十年	七月四日	その他	東寺百合ち十二	東寺文書4	[二十一口方評定引付] 一、上野庄此間荒分田可開事／其年式上野庄田宛事、依不入水、年貢已下減少之間、自当年五ヶ庄園案内、既水入了、但当年依疫疾、一旦雖堀溝有相続、不及掃除歟、然間所植付稲穀焼失了、言語道断之次第也…
1438年	8月29日	永享十年	七月三十日	旱魃・渴水	師郷記二 - 二〇九頁	史料纂集	此時分祈雨御祈事被仰出之、伝奏被下知諸寺社了、此間数日炎旱之故也、今年病事至今月猶不休、人民多以志望、希
1439年	2月11日	永享十一年	十二月二十九日	その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符	教王4-1232	注進 上久世庄御年貢米散用状事…忒拾漆石 損亡
1439年	6月16日	永享十一年	四月二十六日	洪水：その他	師郷記三 - 十四頁	史料纂集	今日洪水也、自昨日雨下、終夜大雨也、
1439年	8月13日	永享十一年	六月二十五日	防災：旱魃・渴水	師郷記三 - 十六頁	史料纂集	祈雨奉幣
1439年	8月14日	永享十一年	六月二十六日	防災：旱魃・渴水	建内記	綜覧 7-692	祈雨奉幣
1439年	8月14日	永享十一年	六月二十六日	防災：旱魃・渴水	建内記二	大日本古記録	祈雨奉幣〈丹生・貴布祢〉俄被行之、…
1439年	8月14日	永享十一年	六月二十六日	旱魃・渴水	建内記二	大日本古記録	近日晴天強不及作害、只今令降雨者、冷氣弥可増歟、為五穀不可然歟之由、有或説、被尋沙汰被行哉如何、尤可被問老農乎、
1439年	8月23日	永享十一年	七月五日	防災：旱魃・渴水	東寺百合ち十三	東寺文書4	[二十一口方評定引付] 祈雨事、重而奉書到来…
1439年	8月23日	永享十一年	七月五日	防災：旱魃・渴水	師郷記三 - 十七頁	史料纂集	祈雨奉幣也、
1439年	8月27日	永享十一年	七月九日	その他：大雨	師郷記三 - 十八頁	史料纂集	雨下、入夜甚雨、此間於所々雨御祈有之、甘雨也、
1439年	9月1日	永享十一年	七月十四日	洪水：その他	師郷記三 - 十八頁	史料纂集	連日雨下、仍洪水以外也、
1439年	9月21日	永享十一年	八月四日	防災：大雨	師郷記三 - 十九頁	史料纂集	今夜止雨奉幣…此間連日降雨之故也、
1439年	10月1日	永享十一年	八月十四日	洪水：その他	師郷記三 - 二一頁	史料纂集	此間連々降雨、洪水深泥以外也、
1439年	11月12日	永享十一年	九月二十七日	洪水：風害	師郷記三 - 六八頁	史料纂集	神宮去月廿二日大風洪水事注進之由、…大木多以顛倒、希代事也、
1439年	12月24日	永享十一年	十一月九日	その他：大雨	師郷記三 - 七〇頁	史料纂集	及暁天大雨、霹靂以外事也、
1439年	6, 7月 (6.21-7.19)	永享十一年	五月	その他	当寺雜掌言上状案	教王4-1223	東寺雜掌謹申／当寺領山城国上野庄用水事／右当庄近年依無用水、田地大略不 [ ] 御願既欲令退転、…
1439年	7, 8月 (7.20-8.18)	永享十一年	六月	旱魃・渴水	山城国上野庄目安案	教王4-1224	(前欠、上野庄) 右子細ハ東寺領上野庄年来不作荒野 [ ] のため被用水を所望之間…諸郷之用水渴乏せしめ…末の用
1440年	4月8日	永享十二年	二月二十七日	冷害・雪害	建内記三	大日本古記録	昨今晚霜如冬、百花開遍時分如何、
1441年	4月6日	嘉吉一年	三月六日	その他	建内記三	大日本古記録	於毘沙門堂有人声云、明旦毒雨可降也、水不可服用之由称之、此事室町殿被聞食及之、被相触云々、禁裏歟、未分明云々
1441年	4月9日	嘉吉一年	三月九日	疫病	建内記三	大日本古記録	近日出現之物流布大略如口学、希代事也 (近日腫物ノ疾流布ス)

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1441年	4月21日	嘉吉一年	三月二十一日	疫病	建内記三	大日本古記録	近日諸人病悩多、赤斑瘡也
1441年	4月27日	嘉吉一年	四月二十七日	防災：大雨	師郷記三 - 九九頁	史料纂集	止雨奉幣
1441年	6月18日	嘉吉一年	五月二十日	洪水：その他	建内記三	大日本古記録	終夜大雨、鴨川洪水、四条・五条橋落 [ ] 云々、
1441年	6月20日	嘉吉一年	五月二十二日	洪水	公名記	日本災異志	京都洪水四條及五條橋墜
1441年	6月24日	嘉吉一年	五月二十六日	防災：大雨	建内記三	大日本古記録	今日丹生・貴布祢両社止雨奉幣、俄可被行之、…
1441年	6月24日	嘉吉一年	五月二十六日	防災：大雨	師郷記三 - 一〇〇頁	史料纂集	今日止雨奉幣、
1441年	7月3日	嘉吉一年	六月六日	冷害・雪害：その他	建内記三	大日本古記録	昼程大風、大雨霰交、雷鳴
1441年	7月3日	嘉吉一年	六月六日	冷害・雪害：その他	師郷記三 - 一〇一頁	史料纂集	申剋俄大風大雨、以外事也、又雹降、大如梅核云々、民屋少々吹破云々、
1441年	7月23日	嘉吉一年	六月二十六日	その他	東寺百合	綜覧 7-713	当寺領の民、朱雀の民と灌溉を争う
1441年	10月29日	嘉吉一年	九月六日	洪水	公名記・日本野史	日本災異志	京都洪水
1441年	10月29日	嘉吉一年	九月六日	その他：大雨	建内記四	大日本古記録	[ ] 夜大雨、鴨川水声達風欠者也
1442年	7月15日	嘉吉二年	五月二十八日	火災	康富記一	増補史料大成 37	深草与竹田、就堤相論確執出来、自深草欲築堤之処、自竹田支之、追弘之間、深草者発向竹田、依之、伏見者共令合力深草者、同自南口押寄竹田放火、令焼弘竹田在家云々、
1442年	7月25日	嘉吉二年	六月九日	防災：大雨	康富記一	増補史料大成 37	今日有止雨奉幣之由…
1442年	9月26日	嘉吉二年	八月十三日	疫病	康富記一	増補史料大成 37	此間、世間号三日病、以外流布云々、
1443年	1月23日	嘉吉三年	十二月二十四日	その他	東寺百合ち十四	東寺文書 4	[二十一口方評定引付] 一、常燈方田地損亡事/当年損亡之間、燈明料足可為欠如之由披露之処、自造営方可補之由治定了
1443年	3月29日	嘉吉三年	二月十九日	火災	公名記	日本災異志	京都押小路火、延及三條坊門
1443年	6月15日	嘉吉三年	五月九日	防災：旱魃・渇水	康富記一	増補史料大成 37	今日可被發遣祈雨奉幣使、…
1443年	6月15日	嘉吉三年	五月九日	防災：旱魃・渇水	師郷記三 - 一五四頁	史料纂集	被行祈雨奉幣、
1443年	6月16日	嘉吉三年	五月十日	防災：旱魃・渇水	建内記六	大日本古記録	昨夜有祈雨奉幣、俊秀申沙汰事…
1443年	6月18日	嘉吉三年	五月十二日	防災：旱魃・渇水	建内記六	大日本古記録	近日炎旱以外也、去九日祈雨奉幣〈丹生・貴布祢〉一度之後、無殊事歟、尤猶可有御祈晴歟…
1443年	6月18日	嘉吉三年	五月十二日	その他：大雨	師郷記三 - 一五五頁	史料纂集	及晩雨下、終夜不休、甘雨也、
1443年	6月19日	嘉吉三年	五月十三日	その他：大雨	康富記一	増補史料大成 37	自夜前、雨灑、今日頻下、祈雨奉幣之外、雨御祈禱事、諸寺諸山被仰之故歟、
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水	公名記 日本野史	日本災異志	京都洪水
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水：その他	建内記六	大日本古記録	雨降、夜殊甚、洪水盈溢、河辺小屋等流散、不便々々、
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水	康富記一	増補史料大成 37	今夜被發遣止雨奉幣使候…於于今者、路次洪水以外候間、難叶候、可如何候哉、…
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水：その他	師郷記三 - 一五五頁	史料纂集	雨下〈自昨日下午也〉午剋以後大雨、洪水言語道断事也、今古無比類云々、洛中如大河、於鴨河辺人多流死云々、
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水	師郷記三 - 一五五頁	史料纂集	後聞、所々田地多以失墜、不思議天災也、洪水当国殊甚云々、
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	防災：大雨	師郷記三 - 一五五頁	史料纂集	今夜俄被行止雨奉幣、
1443年	6月26日	嘉吉三年	五月二十日	洪水	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	大洪水

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1443年	6月27日	嘉吉三年	五月二十一日	洪水	師郷記三 - 一五六頁	史料纂集	雨下、洪水次第減少云々、
1443年	6月28日	嘉吉三年	五月二十二日	洪水	看聞御記 日本野史	日本災異志	京都洪水、人畜溺死多
1443年	7月1日	嘉吉三年	五月二十五日	洪水	建内記六	大日本古記録	先日洪水、室町殿惣門内〈室町之通南北也、一条以北〉、自上方水流来如川、少々雨之時、猶如此、当年洪水以外也、女人兩人流畢云々、希代事哉、
1443年	7月8日	嘉吉三年	六月二日	その他：風害	看聞日記	日本震災凶謹攷	大風
1443年	7月16日	嘉吉三年	六月十日	洪水	康富記一	増補史料大成 37	依洪水、旅人往反之煩出来、…
1443年	7月26日	嘉吉三年	六月二十日	地震	建内記六	大日本古記録	今朝大地震
1443年	7月26日	嘉吉三年	六月二十日	地震	康富記一	増補史料大成 37	今日卯剋大地震有声、龍神動也、炎旱病事兵革之由、見賀茂在貞朝臣勘文了、
1443年	7月26日	嘉吉三年	六月二十日	地震	師郷記三 - 一五七頁	史料纂集	今日卯剋大地震也、
1443年	7月30日	嘉吉三年	六月二十四日	風害	建内記六	大日本古記録	天晴、及晩、風列雨微、夜来暴風破屋…
1443年	7月30日	嘉吉三年	六月二十四日	風害	建内記六	大日本古記録	先日(廿四日夜)大風、室町殿・鹿苑院等、殊吹損云々(二十八日条)
1443年	7月30日	嘉吉三年	六月二十四日	風害	師郷記三 - 一五八頁	史料纂集	今日、自晩頭雨下風吹、入夜大風、及暁天、言語道断事也、所々屋舎多破損了、
1443年	7月30日	嘉吉三年	六月二十四日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	夜半、大風、
1443年	10月6日	嘉吉三年	九月四日	風害	康富記一	増補史料大成 37	雨下、[ ] 時暴風頻吹、後聞、正親町京極 [ ] 殿池之汀大木吹倒云々、
1443年	10月6日	嘉吉三年	九月四日	洪水：その他	師郷記三 - 一六四頁	史料纂集	風雨、申剋許大風以外也、後聞、諸国或洪水、或大風、以外事云々、今年五月末洪水、七月廿一日大風、其後久雨不降、炎旱及数十日、剩又大風、凶年之式、為之如何、
1443年	10月25日	嘉吉三年	九月二十三日	火災	興福寺略年代記・暦仁以来年代記	日本災異志	夜内裏火
1444年		文安一年		洪水	山城国上久世庄年貢算用状	教王 5-1379	注進 上久世庄御年貢御算用状事／文安元年分／…式石七斗八升六合 当年流田損 上使之御注文在…
1444年		文安一年		旱魃・渴水	東寺百合る四九	東寺文書 5	[最勝光院方評定引付] 兼行去年(文安一年)々貢事、旱魃之間損亡事、代官内藤方申之間、披露之処、以堅請文被請定之上者、損亡事旁不可叶之由、雜掌遣之可返答之旨衆儀畢
1444年		文安一年		その他	東寺百合る四九	東寺文書 5	[最勝光院方評定引付] 兼行去年(文安一年)々貢内拾貫文損亡引之由猶申、不沙汰之間披露之処、…所詮雖為一錢損亡事不可叶也…
1444年	1月9日	文安一年	十一月二十二日	地震	師郷記三 - 二二八頁	史料纂集	戊剋大地震也、…消肝者也、相次又動揺、其後連々有之、
1444年	4月1日	文安一年	三月四日	その他：大雨	康富記二	増補史料大成 38	是日洛中之男女皆申云、自虚空、大豆小豆降云々、雨降時分交下云々、其体如大豆之形、但槌不大豆、非小豆歟、下女等拾取、持来之間、見了、所詮如木之実歟、
1444年	5月5日	文安一年	四月九日	冷害・雪害	康富記二	増補史料大成 38	未剋許、雨下、雷鳴、風吹、即休、但、雹交降、頗如水矣、
1444年	5月6日	文安一年	四月十日	冷害・雪害	建内記七	大日本古記録	昼微雨、申剋敷大霰降、摧而如散雪、雷鳴、
1444年	5月6日	文安一年	四月十日	地震：冷害・雪害	康富記二	増補史料大成 38	今日未剋地震、今日午剋雷鳴、雨并雹降、電光頗散、
1444年	5月6日	文安一年	四月十日	冷害・雪害	師郷記三 - 二〇五頁	史料纂集	申剋雷鳴、雹降、如梅核、
1444年	5月23日	文安一年	四月二十七日	地震	康富記二	増補史料大成 38	今夜亥剋大地震

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1444年	6月11日	文安一年	五月十六日	その他：大雨	建内記七	大日本古記録	雨降、破屋潤沢、以外也、
1444年	6月13日	文安一年	五月十八日	防災：旱魃・渇水	康富記二	増補史料大成 38	炎旱之御祈禱五山被仰付云々、又仰付侍所開闔〈…〉以町人夫、被掃除神泉苑云々、
1444年	6月19日	文安一年	五月二十四日	防災：旱魃・渇水	康富記二	増補史料大成 38	時々雨下、祈雨奉幣可被行之由、被触上脚職事事、已參陣之処、俄延引云々
1444年	6月27日	文安一年	六月三日	防災：旱魃・渇水	康富記二	増補史料大成 38	祈雨奉幣可被行之由、…俄延引了
1444年	7月4日	文安一年	六月十日	洪水	建内記七	大日本古記録	雨降…河水盈溢、四条・五条橋不全〔 〕時分云々、
1444年	7月27日	文安一年	六月三日	その他	師郷記三 - 二一三頁	史料纂集	自都督卿仰頭、為奉公送給二俵、近日世間艱難過法之間、所被絶恩恵也、
1444年	8月16日	文安一年	六月二十三日	防災：旱魃・渇水	師郷記三 - 二一四頁	史料纂集	雨御祈事、被仰禪院云々、近日炎旱甚之故也、
1444年	9月1日	文安一年	七月十日	防災：旱魃・渇水	康富記二	増補史料大成 38	祈雨奉幣使可被発遣之由、自局務被相触、雖然延引、
1444年	9月4日	文安一年	七月十三日	その他：大雨	師郷記三 - 二一六頁	史料纂集	時々雨下、入夜大雨、此間数日炎旱、衆人快紛、
1444年	9月9日	文安一年	七月十八日	防災：旱魃・渇水	康富記二	増補史料大成 38	祈雨奉幣使発遣之、
1444年	11月22日	文安一年	十月四日	その他	康富記二	増補史料大成 38	葵岸本百姓衆、今年損亡申之間、為検見之処、以別田〈…〉号岸本、令引導見之間、可処罪之由申之、可出一献可免之由、申請者也、兼者追放地下、可改作職之由申了、
1445年	7月10日	文安二年	五月二十六日	防災：旱魃・渇水	師郷記四 - 二一頁	史料纂集	被行祈雨奉幣、…此間数日炎旱之間、被行之了、
1445年	7月13日	文安二年	五月二十九日	防災：旱魃・渇水	師郷記四 - 二一頁	史料纂集	今日祈雨奉幣〈昨日可被行之処、依事不具、今日被行之歟
1445年	7月15日	文安二年	六月二日	その他：風害	年代記抄節・日本野史・歴仁以来年代記	日本災異志	京都大風
1445年	7月15日	文安二年	六月二日	風害	師郷記四 - 二二頁	史料纂集	雨下、于未剋大風、言語道断事也、洛中洛外諸方舍屋多以破損、諸国同之、蓬屋被吹破頗珍事也、後聞、南都薬師寺堂顛倒、供層六人打殺之、此堂古所也云々、
1445年	8月4日	文安二年	六月二十二日	その他：大雨	師郷記四 - 二四頁	史料纂集	西廻許甚雷雨鳴言語道断事也、及数ヶ度万人消肝、後聞、近衛殿对屋西妻=令落之、禪閣御座之所也、但不損人之、又四条道場大庫裏=令落之間、時衆一人死云々、其外猶落所有之云々、
1445年	4, 5月 (4.17-5.15)	文安二年	三月	洪水：その他	紀伝・日本野史	日本災異志	京都大雨洪水
1445年	6, 7月 (6.15-7.13)	文安二年	五月	防災：旱魃・渇水	神泉苑祈雨結番廻請	教王 5-1380	(端裏書)「祈雨神泉苑参詣結番廻請」廻 雨御祈禱事…右於神泉苑雨御祈禱可有之、毎日所作事…
1446年	5月19日	文安三年	四月十五日	洪水：その他	師郷記四 - 七七頁	史料纂集	雨下、入夜大雨、洪水也、今日吉田祭延引了、
1446年	6月16日	文安三年	五月十三日	防災：大雨	師郷記四 - 八五頁	史料纂集	今日止雨奉幣也、
1446年	6月23日	文安三年	五月二十一日	洪水：その他	師郷記四 - 八六頁	史料纂集	今日止雨奉幣也、…今月連々降雨、度々洪水也、仍重被行了、
1446年	10月22日	文安三年	九月二十三日	火災	日本野史	日本災異志	宮中火
1447年	1月7日	文安四年	十一月二十二日	風害	師郷記四 - 一九一頁	史料纂集	終日風烈、頗可謂大風、少々破損所有之、
1447年	3月20日	文安四年	二月二十五日	その他	建内記七	大日本古記録	去年大風以後、上葺未及修治、…
1447年	3月29日	文安四年	二月四日	その他	建内記七	大日本古記録	羽前年貢事、[去]年損亡分半分、以別儀[可]優免[之由…]…散用状遣之…
1447年	5月21日	文安四年	三月二十八日	風害	建内記八	大日本古記録	大内船二艘先日入兵庫…件夜悪風破損、所積之米穀三千石許・所乘之人救済々入海云々、神慮似有恐云々、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1447年	5月25日	文安四年	四月二日	火災	皇年代略記・和漢合符・年代記抄節	日本災異志	南禪寺火
1447年	7月10日	文安四年	五月十八日	旱魃・渇水	建内記八	大日本古記録	微雨不湿地、近日炎天以外云々、
1447年	7月15日	文安四年	五月二十三日	防災：旱魃・渇水	建内記八	大日本古記録	…明日祈雨奉幣進退事、
1447年	7月16日	文安四年	五月二十四日	防災：旱魃・渇水	建内記八	大日本古記録	今朝可被發遣祈雨〈丹生・貴布祢〉奉幣…
1447年	7月24日	文安四年	六月三日	防災：旱魃・渇水	建内記八	大日本古記録	…祈雨奉幣…
1447年	8月1日	文安四年	六月十一日	疫病	師郷記四 - 一六九頁	史料纂集	自去月比、世間兩三日風氣流布、諸人病悩以外事也、
1447年	8月25日	文安四年	七月五日	火災	皇年代略記・和漢合符・年立抄紀事	日本災異志	天龍寺火
1447年	8月27日	文安四年	七月七日	旱魃・渇水	建内記九	大日本古記録	井底已尽、近辺同前、珍事也
1447年	8月28日	文安四年	七月八日	旱魃・渇水	建内記九	大日本古記録	甚雨数度、渴望惣満足、
1447年	8月30日	文安四年	七月十日	防災：旱魃・渇水	建内記九	大日本古記録	今夕可有祈雨奉幣之処、依降雨不及其儀云々
1447年	9月7日	文安四年	七月十八日	防災：旱魃・渇水	建内記九	大日本古記録	今日祈雨奉幣右中弁參陣事、……夜雨、施効驗、
1448年		文安五年		疫病	南方紀伝	日本災異志	疾疫飢饉
1448年	5月3日	文安五年	三月二十一日	火災	如是院年代記	日本災異志	京都粟田口十禪寺火
1448年	6月2日	文安五年	四月二十二日	洪水：その他	如是院年代記・日本野史	日本災異志	京都霖雨洪水
1448年	6月2日	文安五年	四月二十二日	洪水：その他	年代記抄	日本震災凶饉攷	霖雨洪水
1448年	7月2日	文安五年	五月二十二日	洪水：その他	師郷記四 - 二二九頁	史料纂集	雨下、頗洪水也、
1448年	7月27日	文安五年	六月十八日	洪水：その他	師郷記四 - 二三三頁	史料纂集	雨下、甚雨也、洪水也、
1448年	7月29日	文安五年	六月二十日	防災：大雨	康富記二	増補史料大成 38	今夜被發遣止雨奉幣也、…
1448年	7月29日	文安五年	六月二十日	防災：大雨	師郷記四 - 二三三頁	史料纂集	今夜止雨奉幣…今日雨不下、然自而去月廿八日、霖雨連統、度々洪水之間、被行之了、
1448年	8月26日	文安五年	七月十八日	防災：大雨	康富記二	増補史料大成 38	今夜止雨奉幣被行之、…
1448年	8月27日	文安五年	七月十九日	洪水	如是院年代記・年立抄・日本野史	日本災異志	京都洪水
1448年	8月27日	文安五年	七月十九日	洪水：その他	師郷記四 - 二三七頁	史料纂集	終日甚雨、今日洪水、言語道断事也、近來如此大水無之云々、諸国水損無物于取喻云々、五条橋・嵯峨法輪橋等落云々、
1448年	10月3日	文安五年	八月二十六日	洪水	康富記二	増補史料大成 38	当年 [ ] 原之堤切、洪水入之間、一所払塵間事等也、…
1448年	10月15日	文安五年	九月九日	洪水	師郷記四 - 二四三頁	史料纂集	雨下、又洪水云々、
1448年	10月17日	文安五年	九月十一日	疫病	康富記二	増補史料大成 38	近曾天変頻變、地妖相統、司天之所奏、其慎是不輕、匪啻示疾病之憂、剩有兵革之告…
1448年	10、11月 (10.7-11.5)	文安五年	九月	洪水：その他	年代記抄節	日本災異志	諸国大雨洪水、損害多
1448年	5、6月 (5.12-6.10)	文安五年	四月	洪水：その他	如是院年代記	日本災異志	霖雨、京都洪水

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1448年	6, 7月 (6.11-7.9)	文安五年	五月	洪水：その他	年代記抄節	日本災異志	諸国大風洪水、損害多
1448年	6, 7月 (6.11-7.9)	文安五年	五月	洪水：その他	年代記抄	日本震災凶 饑放	大雨洪水
1449年	3, 4月 (3.4-4.1)	文安六年	二月	洪水	南方紀伝	日本の気候 史料	大水
1449年	5月11日	文安六年	四月十日	地震	康富記二	増補史料大 成 38	今夜夜剋許大地震（及兩三度有聲）近 来之大動也、夜半許又地震兩三度也
1449年	5月11日	宝徳一年	四月十日	地震	武家年代記 裏書	続史料大成 18	夜、大地震
1449年	5月11日	文安六年	四月十日	地震	師郷記五 - 十六頁	史料纂集	今日亥刻大地震
1449年	5月11日	宝徳一年	四月十日	地震	如是院年代 記	新校群書類 従 20-P265	自四月十日、至六月二十五日、大地震、 廻々築地破、
1449年	5月12日	宝徳一年	四月十一日	地震	武家年代記 裏書	続史料大成 18	（十二日カ）亦大地震、地裂山崩、京 中所々築地無残所、其後連日無止而及 十二月、
1449年	5月12日	文安六年	四月十一日	地震	師郷記五 - 十六頁	史料纂集	今日亥刻又大地震
1449年	5月13日	文安六年	四月十二日	地震	康富記二	増補史料大 成 38	辰刻大地震、其後小動連々不休、終日 動揺不知其数矣、…
1449年	5月13日	文安六年	四月十二日	地震	師郷記五 - 十六頁	史料纂集	辰刻大地震、超過兩日、諸人消魂、所々 築地頽、今日小動数十度也、
1449年	5月14日	文安六年	四月十三日	地震	康富記二	増補史料大 成 38	去十日、同十二日大地震之故、所々築 地不全、禁裏仙洞地多破損…其外東山 西山在々所々、大地烈破云々、若狭海 道小野長坂之辺、山岸等崩懸、荷負馬 多斃死、人亦数多被計（打カ）殺云々、 五六十老者未知是程地動之由申之 云々、…
1449年	5月18日	文安六年	四月十七日	地震	康富記二	増補史料大 成 38	去十日以来毎日連々地震也、御祈禱事、 諸寺諸社被仰之、…
1449年	5月28日	文安六年	四月二十七日	地震	康富記二	増補史料大 成 38	此間連日地震猶未休、是日、為地震、 公家御祈禱、被發遣伊勢一社奉幣使者 也、
1449年	5月28日	文安六年	四月二十七日	地震	師郷記五 - 十九頁	史料纂集	自十日以後至今日連日地震、
1449年	6月28日	文安六年	五月二十九日	防災：旱魃・渇水	康富記三	増補史料大 成 39	祈雨奉幣使發遣也、
1449年	7月11日	文安六年	六月十二日	疫病	康富記三	増補史料大 成 39	左弁官下東大寺〈…〉／応七日間、令 転説大般若經事／右、日来天変告災、 地震作害、多以疫癘之苦、因以飢饉之 憂…
1449年	7月15日	文安六年	六月十六日	疫病	康富記三	増補史料大 成 39	今年天下疫癘流布、又飢饉以外也、別 御祈禱事可被宣下之
1449年	7月27日	文安六年	六月二十八日	防災：大雨	康富記三	増補史料大 成 39	入夜、被發遣止雨奉幣使、於丹生貴布 祢兩社也、…
1449年	7月28日	文安六年	六月二十九日	その他	康富記三	増補史料大 成 39	来月可有改元之由、有其沙汰、今年天 変地震、疫癘、飢饉等在之間、及此御 沙汰云々、…
1449年	8月16日	文安六年	七月十九日	地震	康富記三	増補史料大 成 39	今日三四ヶ度地震、頗大動也、水神動 云々
1449年	9月11日	宝徳一年	八月十五日	その他：大雨	康富記三	増補史料大 成 39	自曉天暴雨雨下瓢風吹、天明之後、風 甚頻、已剋休
1450年		宝徳二年		その他	山城国上下 久世庄年貢 米算用状	教王 5-1428	注進、上下久世庄御年貢米算用状事／ 宝徳二年分／…壹石九斗三升当年流田 御免
1450年	6月15日	宝徳二年	四月二十六日	疫病	師郷記五 - 四五頁	史料纂集	世上病事甚、仍招（勘解由小路）在貞 卿、於管領（畑山持国）宿所、可被被 （ママ）行四角四界祭之由被命云々、 可為来月二日云々、
1450年	6月20日	宝徳二年	五月二日	疫病	康富記三	増補史料大 成 39	今夜四角四界祭被行之、依天下疫癘流 布御祈禱也、…此間天下疫癘流布之 故被行之、…
1450年	6月27日	宝徳二年	五月九日	防災：大雨	康富記三	増補史料大 成 39	止雨奉幣、可被行之、…

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1450年	8月6日	宝徳二年	六月二十日	防災：旱魃・渇水	康富記三	増補史料大成 39	今夜祈雨奉幣也、…
1450年	8月17日	宝徳二年	七月一日	風害	康富記三	増補史料大成 39	晩雨下風吹折木枝程也、…後日伝聞、今日周防長門両国有暴風、吹損人屋城郭草木等、希代大風也…
1450年	9月1日	宝徳二年	七月十六日	その他：風害	康富記三	増補史料大成 39	後日人々語説、今日於越中国有不思議、大風大雨之中、牛嶽（ウシガタケ）ト云所ヨリ、光物出〈其体雲中鬼形有之〉指良飛行、其間十里許也〈山河草木悉損失云々〉
1450年	9月8日	宝徳二年	七月二十三日	その他	康富記三	増補史料大成 39	後日伝承分、洛中七条西洞院迎棄異児、人多奇之見之処、馬之形有四蹄云々、希代事也、
1450年	10月11日	宝徳二年	八月二十七日	風害	康富記三	増補史料大成 39	今夜大風吹、及天明風雨休、茅屋上散々吹破、板如木葉四方散乱、不及頃頭了簡者也、
1450年	11月23日	宝徳二年	十月十日	その他	康富記三	増補史料大成 39	三条帥大納言被官人士橋二郎左衛門死去〈三十九歳〉流布風也云々、
1450年	8、9月 (8.17-9.14)	宝徳二年	七月	疫病	南方紀伝下	改定史籍集覧 3-59	自正月、至七月、大疫癘、京中一日千人死、四条川原大橋成、
1451年		宝徳三年		疫病	文正年代記	日本震災凶謹攷	天下疾疫流行
1451年	2月17日	宝徳三年	一月七日	その他：風害	師郷記五 - 五七頁	史料纂集	午剋以後雨下、入夜風烈、及夜半大風、々止之後被始行節会
1451年	7月2日	宝徳三年	五月二十四日	防災：旱魃・渇水	師郷記五 - 七八頁	史料纂集	今夜祈雨奉幣也、
1451年	7月14日	宝徳三年	六月七日	防災：旱魃・渇水	師郷記五 - 七九頁	史料纂集	今日祈雨奉幣、
1451年	7月20日	宝徳三年	六月十三日	防災：旱魃・渇水	師郷記五 - 八〇頁	史料纂集	今日祈雨奉幣、
1451年	8月7日	宝徳三年	七月二日	地震	康富記三	増補史料大成 39	是日大地震…
1451年	8月7日	宝徳三年	七月二日	地震	師郷記五 - 八三頁	史料纂集	未剋大地震、
1451年	8月24日	宝徳三年	七月十九日	その他：大雨	康富記・日本野史	日本災異志	京都雨水傷稼
1451年	8月24日	宝徳三年	七月十九日	洪水：その他	日本野史	日本震災凶謹攷	大雨洪水稼を傷む
1451年	9月20日	宝徳三年	八月十六日	防災：大雨	康富記三	増補史料大成 39	止雨奉幣被付行之、…
1452年	2月14日	享徳一年	十二月二十七日	その他	山城国上下久世庄年貢米算用状	教王 5-1516	注進東寺八幡宮御領下久世庄御年貢米算用状事…五石損免
1452年	2月17日	宝徳四年	一月十八日	冷害・雪害	師郷記五 - 九五頁	史料纂集	昨今両日嚴寒以外事也、後日或人云、応永六年以後無如此寒云々
1452年	4月20日	宝徳四年	三月二十一日	防災：大雨	師郷記五 - 一〇四頁	史料纂集	除目以前被行止雨奉幣、
1452年	5月22日	宝徳四年	四月二十四日	疫病	師郷記五 - 一一〇頁	史料纂集	近日天下疱瘡以外事也、人多以死亡之、
1452年	6月2日	宝徳四年	五月六日	防災：旱魃・渇水	師郷記五 - 一一二頁	史料纂集	今日祈雨奉幣也、
1452年	6月14日	宝徳四年	五月十八日	疫病	師郷記五 - 一一三頁	史料纂集	今年三合并疱瘡事被載 詔書云々、兼被尋先例云々
1452年	6月16日	宝徳四年	五月二十日	防災：大雨	師郷記五 - 一一四頁	史料纂集	今日被行止雨奉幣、
1452年	8月19日	享徳一年	七月二十五日	疫病	師郷記五 - 一二〇頁	史料纂集	今年三合并疱瘡改元、依承曆例、可例作、詔書之由被仰
1452年	8月25日	享徳一年	八月二日	火災	如是院年代記	日本災異志	大徳寺火
1453年	2月3日	享徳二年	十二月十七日	その他	山城国下久世庄年貢米算用状	教王 5-1547	注進東寺八幡宮御領下久世庄御年貢米算用状事…八国七斗五升損免
1453年	5月23日	享徳二年	四月六日	冷害・雪害	師郷記五 - 一六九頁	史料纂集	申剋雷雨、雹降、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1453年	9月14日	享徳二年	八月三日	防災：大雨	康富記四	増補史料大成 40	止雨奉幣也…
1453年	9月14日	享徳二年	八月三日	防災：大雨	師郷記五 - 一八九頁	史料纂集	今日止雨奉幣、
1453年	9月29日	享徳二年	八月十八日	防災：大雨	康富記四	増補史料大成 40	今日止雨奉幣可被行之、…
1453年	9月29日	享徳二年	八月十八日	その他	臥雲日件録	日本凶荒史考	[止雨奉幣宣命草]…近日〈波〉、農民收穫之時〈奈留尔〉[ ]不晴〈志天漸〉久日居〈乎〉積〈利〉、田稼〈能〉妨〈尔毛〉及〈比〉、水患〈能〉災〈毛〉有〈奴倍志止〉聞食〈志〉驚〈氣利〉
1453年	9月29日	享徳二年	八月十八日	防災：大雨	師郷記五 - 一九一頁	史料纂集	止雨奉幣也…今月連々雨下、仍兩度被行之了、
1453年	1, 2月 (1.8-2.6)	享徳二年	十二月	その他	山城国上久世庄年貢米算用状	教王 5-1548	注進上久世庄御年貢米算用状事／…壹石七八斗参升当流田／三拾伍石当年免分
1454年	1月21日	享徳三年	十二月二十四日	火災	如是院年代記	日本災異志	伏見火
1454年	5月24日	享徳三年	四月十八日	防災：大雨	師郷記五 - 二三六頁	史料纂集	今日止雨奉幣、
1454年	6月2日	享徳三年	四月二十七日	疫病	師郷記五 - 二三七頁	史料纂集	平野祭猶延引、世間穢氣之故歟、
1454年	7月11日	享徳三年	六月七日	防災：大雨	師郷記五 - 二四一頁	史料纂集	今日被行止雨奉幣、
1454年	8月28日	享徳三年	七月二十五日	その他：風害	師郷記五 - 二四九頁	史料纂集	風雨甚、
1454年	8月30日	享徳三年	七月二十七日	防災：大雨	師郷記五 - 二四九頁	史料纂集	今日止雨奉幣也、
1454年	9月12日	享徳三年	八月十一日	その他：風害	師郷記五 - 二四九頁	史料纂集	入夜風雨、終夜不休
1454年	9月13日	享徳三年	八月十二日	その他：風害	師郷記五 - 二四九頁	史料纂集	今日大風、雨下、及晩雨休、風猶不休、凶年之基也、
1455年	6月18日	享徳四年	四月二十四日	洪水	康富記四	増補史料大成 40	内裏女房達、自伊勢今夕環向云々、路次有洪水、追付詣之衆溺死者在之由、有風聞、如何、
1455年	8月26日	享徳四年	七月五日	旱魃・渇水	師郷記六 - 三三頁	史料纂集	雨下、去月一日以後雨不降、可謂久旱、但於用水者、無子細
1456年	1月1日	康正二年	十一月二十六日	地震	師郷記六 - 一一五頁	史料纂集	今日寅申剋兩度地震、
1456年	1月2日	康正二年	十一月二十七日	地震	師郷記六 - 一一五頁	史料纂集	戌剋地震、
1456年	6月27日	康正二年	五月十六日	その他：大雨	師郷記六 - 八九頁	史料纂集	此間依連日雨、…
1456年	6月30日	康正二年	五月十九日	防災：大雨	師郷記六 - 八九頁	史料纂集	止雨奉幣、…
1456年	7月2日	康正二年	五月二十一日	その他：大雨	師郷記六 - 一二三頁	史料纂集	(康正二年紙背文書、某書状、年次は推定) 霖雨蒙然、迷惑之至候、…
1456年	7月7日	康正二年	五月二十六日	防災：大雨	師郷記六 - 九〇頁	史料纂集	今日被行止雨奉幣…
1456年	8月5日	康正二年	六月二十五日	洪水：その他	師郷記六 - 九四頁	史料纂集	入夜甚雨、洪水以外事也、
1456年	9月6日	康正二年	七月二十七日	大雨	師郷記六 - 一〇〇頁	史料纂集	雨下、未斜雷鳴、以外事也、諸人消魂、令落所々震、死者所々有之云々、
1457年	5月23日	康正三年	四月二十一日	その他	寺務方書廻請紙背文書抄上六三	北の丸 - 国立公文書館報 32	うちの畠のむき、一もなし、京中万民あさましかり候事ハはりニて候 (隨心院殿宝書状)
1457年	6月15日	康正三年	五月十四日	防災：旱魃・渇水	山科家礼記一	史料纂集	禁裏雨ノ奉幣アリ、私去月三月廿二日ヨリ雨ノ事不見
1457年	8月20日	長祿一年	七月二十一日	風害	文正年代記・日本野史	日本災異志	夜諸国大風、抜木発屋
1457年	9月18日	長祿一年	八月二十一日	風害	年代記抄節	日本災異志	京都大風、巨木悉倒如永祚之風

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1457年	10月7日	康正三年	九月十日	その他	東寺文書射	室町幕府文書集成 497	[室町幕府奉公人奉書 寺崎玄雅法橋宛て] 東寺領山城国上桂上野庄代官職事、依井水興行之勞功、令補任上者、早任文安二年四月十一日寺家連署之旨、停止方々競望、如元可被全領知之由、所仰下也、仍執達如件、
1457年	10月18日	康正三年	九月二十一日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、(久世) 上下損亡事、度々歎申間、披露之処、先不可叶之由可為下知云々、但尚事申者五石分可遣云々
1457年	10月20日	長祿一年	九月二十三日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、(久世上下) 損亡事先五石
1457年	10月22日	長祿一年	九月二十五日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、(久世上下) 損亡事、又重而五石分可為下知云々、已上十石分也
1457年	10月27日	長祿一年	九月三十日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、上久世庄損亡事、先度廿石分雖有之、不申領状之間…重而五石被副之、仍先廿五石分治了
1457年	11月9日	長祿一年	十月十三日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、上久世庄損亡事、昨日例式三人參申候、種々申入旨、披露之間、重又五石可給候云々、都合卅石分給了之
1457年	11月21日	長祿一年	十月二十五日	その他	東寺百合る五九	東寺文書 5	[鎮守八幡宮供僧評定引付] 一、上久世庄損免事、重而三人有上洛、種々申間、重而五石分被加増量、都合卅五石分当年損免被遣了
1458年		長祿二年		その他	山城国上久世庄年貢算用状	教王 5-1629	注進 上久世庄御年貢散用状之事/長祿貳年分/…老石三斗貳升陸合參勺当流田
1458年	2月25日	長祿二年	一月三日	地震	師郷記六 - 一三二頁	史料纂集	京都今夜子剋大地震、或云丑剋云々、
1458年	2月25日	長祿二年	一月三日	地震	正長元年記	続群書類従 29下 -P390	丑時、大地震、
1458年	3月26日	長祿二年	二月三日	火災	年立抄・日本野史	日本災異志	鞍馬寺火
1459年	4月28日	長祿三年	三月十七日	その他	東寺百合文書を三〇〇	室町幕府文書集成 539	[室町幕府奉公人奉書 西岡諸給主御中宛て] 松尾社境内用水事、就神事、去年雖被成奉書、先如元、可通之旨、被仰社家候訖、於子細者、以前被取合之上者、追而可被糺決之由、被仰出(候カ)者也、仍執達如件、
1459年	4月28日	長祿三年	三月十七日	その他	東寺百合文書三〇一	室町幕府文書集成 540	[室町幕府奉公人奉書 松尾社主殿宛て] 山城国西岡給主等申、当社境内用水事、去年雖被成奉書、就耕作歎申間、先如元、可被通之、於往古井水者、以前被被取合上者、追而被糺決、可有御成敗之由、被仰出候也、仍執達如件、
1459年	10月15日	長祿三年	九月十日	洪水：その他	如是院年代記・和漢合符・日本野史	日本災異志	京都大風、洪水
1459年	10月15日	長祿三年	九月十日	洪水：風害	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	大洪水、同大風、処々家門吹倒、不知数、
1460年		長祿四年		その他	和漢合符	日本震災凶饑攷	天下大に飢饉
1460年		長祿四年		洪水	山城国上久世庄年貢算用状	教王 5-1674	注進 上久世庄御年貢散用状之事/長祿四年分/…老石三斗老升八合当流田/卅五石損免
1460年	1月19日	長祿四年	十一月二十九日	その他	東寺百合文書を三一九	室町幕府文書集成 591	[室町幕府奉公人奉書 産川(寒川)新左衛門尉殿宛て] 松尾社司等申、桂河用水事、自状到来畢、不日可出帶文書正文之由候也、仍執達如件、
1460年	3月11日	寛正一年	二月九日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	戌剋大地震、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1460年	3月31日	長禄四年	二月二十九日	その他	東寺百合文書を三〇八	室町幕府文書集成 576	[室町幕府奉公人奉書 当所給主御中宛て] 城州西岡拾壹ヶ郷給主等申、桂川用水溝事、去年就西芳寺御成、雖被埋之、為作毛、依有其傾、於向後之出、御之当日、可相懸橋於彼溝云々、早任申請之旨、毎度可致用意、至水路者、如元堀通之、如元可被通水之由候也、仍執達如件、
1460年	3月31日	長禄四年	二月二十九日	その他	東寺百合文書を三〇八	室町幕府文書集成 577	[室町幕府奉公人奉書 松尾社主殿宛て] 城州西岡十一ヶ郷給主等申、桂川用水溝事、去年就西芳寺御成、雖被埋之、如元可被通水之由候也、仍執達如件、
1460年	4月 (4.1-4.29)	長禄四年	三月	その他：大雨	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	自三月、至六月二十四日、久雨、不熟
1460年	6月2日	寛正一年	五月四日	疫病	東寺百合く二三	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付] 一、世間人多病死間、六月於西院心経会可被行所作人等事…
1460年	6月23日	寛正一年	五月二十五日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	午剋大地震
1460年	7月12日	長禄四年	六月十五日	防災	東寺百合く二三	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付] 止雨御祈禱事、為天下豊饒官符并寺務奉書如此、仍於講堂七ヶ日仁王経御読経可被行也、…
1460年	7月12日	長禄四年	六月十五日	防災	狩野亨吉氏蒐集文書	室町幕府文書集成 581	[室町幕府奉公人奉書 祇園社執行御房宛て] 止雨御祈禱事、一社一同、別而可被抽懸祈之由、被仰出候也、仍執達如件、
1460年	7月22日	長禄四年	六月二十五日	防災：大雨	八坂神社記録	増補続史料大成 46	止雨御祈禱事、一社一同別而可被抽懸祈之由、…
1460年	8月26日	長禄四年	八月一日	防災：旱魃・渇水	東寺百合く二三	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付] 近日事外延旱之間、雨請御祈禱可有御沙汰歟由、致披露処…
1460年	9月23日	寛正一年	八月二十九日	洪水	年代記抄節	日本災異志	諸国洪水
1460年	6, 7月 (6.28-7.26)	長禄四年	六月	その他：大雨	年代記抄	日本震災凶饑攷	三～六月霖雨
1461年		寛正二年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状	教王 6-1691	注進 上久世庄御年貢米算用状／寛正二年分／…壹石三斗捌升壹合 当流田／…貳拾石 損免
1461年		寛正二年		疫病	壬生家文書 五 - 一四九七	図書寮叢刊	[壬生家印伝等供養覚] …寛正二年天下饑饉病時之時、此 [十カ] 一面像奉摺 [ ]、其以後千手観音・地藏・不動同摺与之…
1461年		寛正二年		疫病	武家年代記裏書	続史料大成 18	春夏之交、天下飢饉、疫癘、民間之死者、充道路、塞流水、不可説々々、於四条橋、自五山施餓鬼有之、
1461年	5月18日	寛正二年	三月二十九日	その他	東寺百合く二四	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付] 旧冬以来都鄙餓死病死前代未聞次第也、仍聊追善之儀有其沙汰者、可然歟之由、致披露之処尤可
1461年	5月18日	寛正二年	三月二十九日	その他	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	自建仁寺始、於六角堂、修善者、施食洛中処々、重死者塚、凡五十箇処許、一箇処、
1461年	6月11日	寛正二年	四月二十四日	疫病	東寺百合く二四	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付] 一、世間病死以外之間、重可被行心経会歟之由、披露之処、尤可然、来廿七日可被行申…
1461年	7, 8月 (7.17-8.14)	寛正二年	六月	その他	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	自旧冬、至夏、諸国人民餓死、来于京城、死者不知数、為彼亡魂、於四条・五条橋上、諸山輪番大施餓鬼、
1462年	7月10日	寛正三年	六月四日	防災：疫病	東寺百合ち十七	東寺文書 5	[二十一口方評定引付] 一、天変并病事御祈禱之事被成論旨之間披露之処…
1463年	7月8日	寛正四年	六月十三日	その他	山科家礼記 一	史料纂集	予昨日よりかさけ、今日尚減也、三日やミ都ニはやり候、いかなる家にも、やまぬ者はなし
1464年	10月2日	寛正五年	八月二十二日	洪水	如是院年代記・日本野史	日本災異志	京都大風洪水、人多漂没

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1465年	1月14日	寛正六年	十二月十九日	その他	山城国上久世庄年貢未進徴符	教王 6-1753	注進 上久世庄御年貢米之事／…損免四拾石／…
1465年	9月14日	寛正六年	八月十五日	洪水	歴仁以来年代記	日本災異志	京都洪水
1465年	9月14日	寛正六年	八月十五日	洪水：その他	暦仁以来年代記	続群書類従 29下-P232	大風雨、大洪水
1465年	9月14日	寛正六年	八月十五日	洪水：その他	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	大風、大洪水、路次往返人吹流、
1465年	10月10日	寛正六年	九月十一日	その他	山城国拝師庄川成検知注進状	教王 6-1746	拝師庄川成検知事／跡田十九一反内小川成 堤向／向田十四一反 川成 孫太郎／同一反 川成 円法／上津鳥卅二反内 六十歩川成 清庵／右注進如件
1465年	10月10日	寛正六年	九月十一日	その他	東西九条未進年貢注進状	教王 6-1751	東西九条旧未進伍拾玖石壹斗七升六合八勺糺明之事／…兵衛九郎川成三斗一升三勺「捨也」当川成間捨へシ／万福寺六石八斗三升六合「捨也」当川成間、以前ノ未進歟…
1466年		文正一年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状	教王 6-1781	注進 上久世庄御年貢米算用状事／文正元年分／…壹石八斗一升七合 当流田…
1466年	1月27日	文正一年	十二月十三日	火災	和漢合符	日本災異志	祇園火
1466年	2月10日	文正一年	十二月二十七日	火災	和漢合符	日本災異志	等持院回祿
1467年	1月7日	文正二年	十二月三日	その他	鈴鹿家記	改定史籍集覧 24-P390	ミナ在所ノ百姓トモ、年貢壹石ニ付、鳥目五百文ツヽ、年貢ノ相場、此通定使次平ニ申付ル、百姓トモ五百文ノ侘ニ参、当年ハ日焼仕候間、三百拾七文ツヽニ侘申、則聖護院村、何モ三百拾七文ニ御取被成候、
1467年	1月24日	応仁一年	十二月二十日	火災	如是院年代記	日本災異志	五辻火
1467年	1月31日	応仁一年	十二月二十七日	火災	如是院年代記	日本災異志	等持寺秋場道場火
1467年	7月1日	応仁一年	五月二十一日	火災	日本野史	日本災異志	稲荷社火
1467年	10月19日	応仁一年	九月十二日	火災	如是院年代記	日本災異志	祇園社火
1468年	7月25日	応仁二年	六月二十七日	防災：旱魃・渇水	山科家礼記一	史料纂集	勸修寺にて雨コヒ仕候也
1468年	8月17日	応仁二年	七月二十日	その他：風害	分類本朝年代記	日本災異志	京都大風雨水
1468年	8, 9月 (8.27-9.25)	応仁二年	八月	大雨	山科家礼記二	史料纂集	大雨々水事外出候、御所中方々在之
1469年	8月26日	文明一年	七月十日	火災	如是院年代記	日本災異志	清水寺火
1469年	9, 10月 (9.15-10.14)	文明一年	八月	洪水	和漢合符	日本災異志	京都洪水、屋舎流亡、人畜溺死
1470年	11月4日	文明二年	十月三日	火災	和漢合符	日本災異志	亥刻、相国寺塔雷火
1470年	11月5日	文明二年	十月四日	火災	山科家礼記二	史料纂集	過夜子剋相国寺塔焼上、依落雷火焼亡之段、其沙汰在之
1470年	11月29日	文明二年	十月二十八日	冷害・雪害	山科家礼記二	史料纂集	過夜大雪、今日猶雪
1472年	7月8日	文明四年	五月二十三日	防災：旱魃・渇水	山科家礼記二	史料纂集	三たうの面々下社頭にて仁王講、雨こいなり
1472年	8月9日	文明四年	六月二十六日	旱魃・渇水	山科家礼記二	史料纂集	晴、所々日テリ、田地迷惑之由也、／…水論候歟
1472年	9月3日	文明四年	七月二十一日	その他：風害	山科家礼記二	史料纂集	過夜大風雨下
1474年	6月25日	文明六年	五月二日	地震	言国卿記一	史料纂集	今日卯刻斗ニ地シン事外也
1474年	9月2日	文明六年	七月十二日	火災	親長記・日本野史	日本災異志	下京火
1474年	9月20日	文明六年	七月三十日	火災	親長記	日本災異志	西京火
1474年	9月21日	文明六年	八月一日	火災	親長記	日本災異志	上京火
1475年	4月5日	文明七年	二月二十日	火災	親長記・長興記	日本災異志	安楽光院火、延焼多

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1475年	7月9日	文明七年	五月二十七日	その他：大雨	親長記・和漢合符・日本野史	日本災異志	京都大雨水
1475年	9月15日	文明七年	八月六日	風害	親長記・長興記・日本野史	日本災異志	京都大風発屋攝津尼崎海溢人多死
1475年	9月15日	文明七年	八月六日	洪水	長興記・和漢合符・日本野史	日本災異志	京都洪水
1476年	7月6日	文明八年	六月六日	火災	長興記・日本野史	日本災異志	上京火、延焼蔽数百家
1476年	9月20日	文明八年	八月二十三日	火災	長興記・日本野史	日本災異志	賀茂社火
1476年	12月8日	文明八年	十一月十三日	火災	紹運録・皇年代略記・永享御幸記	日本災異志	仮皇居火
1477年		文明九年		その他	大巷所檢知注進状	教王6-1845	(端裏書)「大巷所川成檢知注進 文明十年四月九日」…合去年分／一貫五百文 川成 弥六／(他十四筆省略)以上六貫貳百十一文
1477年	2月8日	文明九年	一月十六日	風害	山科家礼記三	史料纂集	今夜禁裏御大所吹破、曲事也、辻風のやうなり
1477年	6月26日	文明九年	五月七日	洪水：その他	山科家礼記三	史料纂集	雨下、大水出也
1477年	6月26日	文明九年	五月七日	洪水	如是院年代記	新校群書類従 20-P265	七日、八日、洪水、天下大乱、
1477年	6月28日	文明九年	五月九日	洪水：その他	山科家礼記三	史料纂集	朝雨下、大水、夕晴
1478年	1月26日	文明十年	十二月二十五日	火災	親長記	日本災異志	京都御霊社火
1478年	9月6日	文明十年	八月一日	旱魃・渇水	親長卿記二	増補史料大成 42	雨下、近日炎旱、万民愁傷之処、甘雨歟
1479年	2月7日	文明十一年	一月七日	その他：風害	宣胤卿記	日本震災凶謹攷	大風雷震
1479年	7月5日	文明十一年	六月七日	その他	松尾神社文書二	室町幕府文書集成 1162	[室町幕府奉公人奉書 当社雜掌宛て] 松尾社境内内水通路事、西岡輩依掘新溝、去寛正二年被経御沙汰、任康暦二年郷々請文、於石塔口、可通彼用水之旨、被成奉書之処、今度一乱中、任雅意、重構新儀条、其咎不輕、所詮、度々証文分明之上者、如元、可被加下知、若猶有違乱族者
1479年	7月5日	文明十一年	六月七日	その他	東寺百合文書を二	室町幕府文書集成 1163	[室町幕府奉公人奉書 当郷々名主沙汰人中宛て] 松尾社雜掌中、当社境内内水通路事、去寛正二年被経御沙汰、任康暦二年久世・寺戸・河嶋・富田・下桂等五郷請文、於石塔口、可通彼用水旨、御成敗之処、今度一乱中、立環堀新溝之条、其咎不輕、所詮、度々証文分明之上者、如元
1479年	7月28日	文明十一年	七月一日	火災	紹運録	日本災異志	北小路皇居火
1479年	8月1日	文明十一年	七月五日	火災	紹運録	日本災異志	京都火
1479年	8月2日	文明十一年	七月六日	火災	親長記	日本災異志	京都火
1479年	8月3日	文明十一年	八月七日	火災	親長記	日本災異志	京都火
1479年	9月5日	文明十一年	八月十日	旱魃・渇水	東寺百合天地	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付第十六冊] 一、今度依旱魃、[ ] 郷民等、堀川の河可掘之 [ ]
1479年	9月5日	文明十一年	八月十日	防災：旱魃・渇水	東寺百合天地	東大史料写真帳	[廿一口方評定引付第十六冊] 一、為祈雨、来十二日、於西院、千返陀羅尼可有之、…
1479年	9月21日	文明十一年	八月二十六日	風害	宣胤卿記	日本震災凶謹攷	大風殿屋倒す

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1479年	9月21日	文明十一年	八月二十六日	その他	東寺百合文書を三	室町幕府文書集成 1176	[室町幕府奉公人奉書 久世上下庄名主沙汰人中宛て] 石清水八幡宮領山城国西庄用水事、自往古定置在所之处、今度猥為当所名主沙汰人等張本、相溝新井於神領上云々、事実者、太招其咎歟、既先年如此致濫吹之間、被棄破訖、所詮、速如先々、可致其沙汰、若令難決者、可被処罪科
1479年	9月21日	文明十一年	八月二十六日	その他	東寺百合文書三〇一	室町幕府文書集成 1177	[室町幕府奉公人奉書 石原庄名主沙汰人中宛て] 石清水八幡宮領山城国西庄用水事、自往古定置在所之处、今度相溝新井於神領上云々、事実者、言語道断之次第也、先年既如此致濫吹之間、破棄破畢、然重致致興行条、罪科難遁者也、所詮、如先々、可致其沙汰之由、被仰出候也、仍
1479年	12月11日	文明十一年	十月十九日	その他	山城国女御田谷内檢注進状	教王 6-1856	女御田谷内檢帳之事／…五斗 当損免…
1480年		文明十二年		その他	山科家礼記四	教王 6-1856	鳥羽六段半田地之内壘段、近年河成、残五反半御年貢米事／合四石六斗七升五合者…二斗八升 損免…
1480年	1月29日	文明十二年	十二月二十日	その他	東寺百合ち二三	東寺文書 4	[二十一口方評定引付] 一、上野損免之事、一石可給之事
1480年	4月28日	文明十二年	三月十日	その他	松尾神社文書三	室町幕府文書集成 1217	[室町幕府奉公人奉書 松尾社神主殿宛て] 山城国西岡十一郷給主等申、桂川用水溝事、去年為社家雖被埋之、為作毛煩之間、就歎申、每度被成奉書無相違上者、於彼溝者、如元堀通之、郷々可全耕作之由、被仰出候也、仍執達如件、
1480年	4月28日	文明十二年	三月十日	その他	東寺百合文書を四	室町幕府文書集成 1218	[室町幕府奉公人奉書 西岡十一郷給主中宛て] 山城国西岡十一郷給主等申、桂川用水溝事、去年為松尾社家雖被埋之、為作毛就其煩、歎申之間、任度々御成敗奉書之旨、至水路者、如元堀通之、郷々可全耕作之由、被仰出候也、仍執達如件、
1480年	7月26日	文明十二年	六月十日	その他	山科家礼記三	史料纂集	雨下四時ヨリ、地下悦也
1480年	10月9日	文明十二年	八月二十六日	風害	宣胤記	日本災異志	京都大風、殿屋傾倒
1481年	11月17日	文明十三年	十月十七日	その他	山城国上久世庄東代流田内檢注進状	教王 6-1870	上久世庄東代流田内檢帳之事／…/[ ] 名 式段 半捨 公 [ ] / (以下十一筆省略)
1482年		文明十四年		その他	鎮守八幡宮常燈田年貢散用状	教王 6-1881	注進 御燈田御年貢 文明十四壬寅 散用状之事／…七斗一升五合 当損免段別一斗三升宛…／七斗五升 当損免 段別一斗五升宛…
1482年		文明十四年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王 7-2025	注進 上久世庄年貢米之事…／損免 參拾石
1486年		文明十八年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王 7-2025	注進 上久世庄御年貢算用状之事 文明十八年分…／老石四斗五升 本流田／五石二升六合 当流田／…三拾石 当損亡…
1486年	1月9日	文明十八年	十二月六日	その他	仏事方支配状集	教王 6-1926	注進 正月十五日御布施支配状之事／…一段 六斗五升内干損田
1486年	6月17日	文明十八年	五月七日	その他：大雨	山科家礼記四	史料纂集	今夜子東庄可下之由候歟、大雨ニテ水出、不下候也
1486年	7月2日	文明十八年	五月二十二日	その他	大巷所川流地注文	教王 6-1912	大巷所川流事 (三筆略) 以上
1486年	10月8日	文明十八年	九月二日	風害	親長記	日本災異志	京都大風、禁闕倒、諸第民家多倒
1486年	10月9日	文明十八年	九月三日	風害	山科家礼記四	史料纂集	過夜大風所々吹破候也、八幡トウシノ八幡御トヒノ様ニ

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1486年	11月5日	文明十八年	九月三十日	その他	東寺百合へ一六八	東寺文書3	[山城上久世庄流田内検帳] 上久世庄流田内検帳之事…/宗方名 二段内一反小捨 公文方/合永名 三段小内 三段捨四郎佐衛門/宗方名 一反 皆捨 蔵王堂/同一反内三百卅歩捨 民部/(以下省略)
1486年	11月17日	文明十八年	十月十二日	火災	親長記	日本災異志	京都三條火
1487年	11月4日	長享一年	十月十日	その他	東寺百合ち二五	東寺文書4	[二十一口方評定引付]一、長国寺来云、上野庄井料事、当年度々洪水、溝等破損之間、可預0御助成云々、衆儀之趣少分可被下、但於員数者、可相尋代官之由、治定了
1488年		長享二年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王7-2025	注進 上久世 [ ] 状之事 長享二年分…/一石四斗五升 本流田/五石六斗五升八合 当流田/…
1488年	2月3日	長享二年	十二月二十四日	洪水	目代日記	北野天満宮史料	しやうくわみんヨリ、油五升八合物を、去年大水、田地川成とて、三、升七合納候、
1488年	8月21日	長享二年	七月五日	疫病	山科家礼記四	史料纂集	三日病、今日うは、同つる病候也、世間事外はやる也
1488年	8月23日	長享二年	七月七日	疫病	山科家礼記四	史料纂集	今夕三日病、丁よりおくるのよし申、代廿文くしかきへいお入、はやし物しおくる也(三日病疫神送り)
1488年	9月1日	長享二年	七月十六日	その他：大雨	山科家礼記四	史料纂集	過夜大雨
1488年	9月1日	長享二年	七月十六日	疫病	山科家礼記四	史料纂集	自過夜難波方三日病、タイカイ違例候也
1488年	9月6日	長享二年	七月二十一日	疫病	山科家礼記四	史料纂集	飯尾四郎方違例大事之由申、御陣より被上候也、彦兵衛うちにも被行候也、三日病にて候也
1488年	9, 10月(9.15-10.13)	長享二年	八月	疫病	曆仁以来年代記	続群書類従29下-P232	七月・八月、疫病、人多死
1489年	5月8日	長享三年	六月二十九日	その他：風害	山科家礼記五	史料纂集	小雨大風
1489年	8月6日	長享三年	七月一日	その他：風害	山科家礼記五	史料纂集	大風雨
1489年	11月2日	延徳一年	十月一日	その他：大雨	山科家礼記五	史料纂集	過夜大雨
1490年		延徳二年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状	教王7-2036	注進 東寺八幡宮御領下久世庄年貢米算用状之事…/拾壱石二斗五升 損免
1490年		延徳二年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王7-2094	注進 上久世庄御年貢米算用状之事 延徳貳年分…/一石四斗五升 本流田/…六石一斗六升八合 当流田 四拾五石 損免…
1490年	3月26日	延徳二年	二月二十六日	その他	目代日記	北野天満宮史料	ヨト(淀)ヨリ永琳院ノ御取沙汰にて参候か、下地川成トテ、近年不参候由申され候、
1490年	8月2日	延徳二年	七月七日	風害	目代日記	北野天満宮史料	如此、当年事者、ふうそんニヨリ候て、地下めいわく仕候間、たう年事者、一段別ニ二十疋つゝの分にて候へ共、一段別ニ二十疋ツゝの分をめされ候て、
1490年	11月17日	延徳二年	九月二十六日	冷害・雪害	潮音堂書籍典籍目録第二号一四四	潮音堂	[某奉書(四位大外記=押小路師富宛て)]今朝雪事、九月中之例可被勘申候由被仰下之状、如件、
1491年		延徳三年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王7-2094	注進 上久世庄御年貢米算用状之事 延徳參年分…/一石四斗五升 本流田/六石三斗二升三合 当流田
1491年	7月22日	延徳三年	六月七日	その他：大雨	山科家礼記五	史料纂集	過夜大雨降、カミナル
1492年	7月3日	延徳四年	五月三十日	洪水：その他	山科家礼記五	史料纂集	雨降、大水

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1492年	7月5日	延徳四年	六月二日	その他：大雨	山科家礼記五	史料纂集	雨降…道大水之由申之／一、七郎さへもん・二郎九郎上候、山口田ニまめうへ候、曲事之由候申候処、半分宛うへつけ候、少まめ之由候也、秋御年貢可納之由候、竹阿申次
1492年	8月2日	延徳四年	六月三十日	疫病	壬生家文書八 - 二二一八頁	図書寮叢刊	[慶秀書状] …さても世上病事流布之儀、真実々々驚耳目候、于今不休之段勿論、祈謝事無殊御沙汰候歟、…
1492年	9月 (9.1-9.30)	明応一年	八月	疫病	暦仁以来年代記	続群書類従 29下 -P232	自正月、至八月、疫病被行、人多死、
1492年	9月13日	明応一年	八月十三日	その他	山科家礼記五	史料纂集	竹阿ミ東庄へ下処、入道ニて三郎兵衛・掃部助・二郎九郎上候、逢候、其子細者、御年貢此方可納侘言候条々、請文きしやうもん之由候間、先可置候歟、各下、
1492年	9月17日	明応一年	八月十七日	その他：風害	山科家礼記五	史料纂集	自夜雨、大風、昼ヤム…／一、西徳部屋西上吹破、女中向御庭西カキ吹コハス、三四間也、中書所も吹ヤフリ候間、ふきくれ百枚・ナハーハ遣之
1492年	9月22日	明応一年	八月二十二日	その他	山科家礼記五	史料纂集	七郎左衛門・二郎九郎、山口二反下地ソソマウ事、当年此方へ不申候、大豆ウへ候、其後、中田之時分ウヘテ、大豆分ニモ米ヲ可計之由申候之処、今日ソソマウ申候、曲事之由申候也、人ハ不可下之由、御返事候也、然処、七郎左衛門三斗三升納、二郎九郎二斗二升納、是ニテ如此
1492年	10月13日	明応一年	九月十三日	その他	山科家礼記五	史料纂集	なかいたのそんまうの二郎三郎上候、是ニテ左衛門太郎同、五十嵐申候也
1492年	12月10日	明応一年	十一月十二日	その他	山科家礼記五	史料纂集	野村養供庵被上候、ゑのこ田のわひ事申之、代百疋、予三十疋被持候、餅酒何様銭披露、御返事可申由候、五十嵐上候
1493年		明応二年		その他	山城国上久世庄年貢米算用状并未進徴符集	教王 7-2094	注進 上久世庄御年貢米算用之事…／一石四斗五升 本流田／八石三斗八升四合 当流田
1494年	8月15日	明応三年	七月六日	火災	和長記・厳助往年記	日本災異志	四條火起延焼下京六十六町
1494年	9月1日	明応三年	七月二十三日	その他	東寺百合文書ト四	室町幕府文書集成 1944	[室町幕府奉公人奉書 久世上下庄名主沙汰人中宛て] 善法寺雜掌申、石清水八幡宮領山城国八条西庄用水事、自往古相定在所、社家進退之処、去文明十一年構新井於社領之上、任雅意之条、被逐一段糺明、被成奉書訖、然今度重而及違乱云々、事実者、好而招其咎歟、言語道断次第也
1494年	9月13日	明応三年	八月五日	旱魃・渇水	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P137	又炎 [ ] 極了、江州狹三四丈減之間、神之御腰懸之 [ ] 四頭云々、又宇治河水小之故、諸人參塔之島…參詣之輩之中、謂水漫々湛難行トテ、迷倒之者数十人云々、又桂河枯渇、云宇治、云桂、近国之大河如此之事、重事之至極也
1494年	9月23日	明応三年	八月十五日	その他：風害	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P155	霧、依土逸起八幡辺物騒也、又播磨国先日三ヶ日昼夜之間大風吹、仍今夕注進髓心院云々、未曾有也
1494年	9月27日	明応三年	八月十九日	その他	東寺百合文書ニ	室町幕府文書集成 1947	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 善法寺雜掌申、石清水八幡宮領山城国八条西庄用水事、自往古相定在所、社家進退条、先度被成奉書之処、久世庄地下人等不能承引、猶以任雅意云々、事実者、言語道断之次第也、所詮、早召上彼庄名主沙汰人、堅可被加下知之由、被仰出候也、
1495年		明応四年		その他	山城国上久世庄流田内檢状	教王 7-2111	明応四年乙卯／[上久世] 庄流田内檢帳事 (十三筆略)
1495年	8月3日	明応四年	七月四日	火災	御浴殿日記	日本災異志	京都火

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1496年	5月26日	明応五年	四月五日	その他	東寺百合文書ひ二	室町幕府文書集成2003	[室町幕府奉公人奉書 下久世庄名主沙汰人中宛て] 勝園寺雜掌申、当寺領山城国西岡牛瀬桂地蔵河原用水事、自往代、進退無相違之処、八幡宮領河東西庄公文福地新左衛門尉光長、号新儀、及押妨云々、依糺明之、雖被成問状奉書、于今不能注進之上者、頗無理所致歟、所詮、於子細
1496年	5月26日	明応五年	四月五日	その他	東寺百合文書ひ二	室町幕府文書集成2004	[室町幕府奉公人奉書 下久世庄名主沙汰人中宛て] (2003号とほぼ同文、省略)
1496年	6月15日	明応五年	四月二十五日	その他	東寺百合文書ヲ一	室町幕府文書集成2012	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 石清水八幡宮領山城国西庄与同国五ヶ庄用水相論事、可遂糺決上者、来月二日以前、可令出对、若有難決之儀者、可被裁許之趣、可被加下知五ヶ庄之由候也、仍執達如件、
1496年	6月25日	明応五年	五月六日	その他	東寺百合文書フ一	室町幕府文書集成2014	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 石清水八幡宮領山城国西庄与同国五ヶ庄用水相論事、来月九日可被遂其節之上者、召具彼庄沙汰人等、可被出对之由候也、仍執達如件、
1496年	7月4日	明応五年	五月十五日	防災：旱魃・渇水	東寺百合文書コ一	室町幕府文書集成2016	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 就災旱祈雨事、任先例、可被仰出之処、遮而申入之条、神妙之至也、然去十三日臨神泉苑、依被仰深法、即降雨、併密檀之奇特、行者効驗尤被感恩食訖、弥可被抽天下安全精祈之由、所仰下也、仍執達如件、
1496年	7月17日	明応五年	五月二十八日	その他	壬生家文書四 - 一〇八一頁	図書寮叢刊	[室町幕府奉公人連署奉書案] 山城国五ヶ庄与石清水八幡宮領同国西八条西庄用水相論事、被遂対決之処、両方申詞無異子細之条、難休者歟…
1496年	7月17日	明応五年	五月二十八日	その他	東寺百合文書を一	室町幕府文書集成2018	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 当寺領山城国久世上下庄以下五ヶ庄与、石清水八幡宮領同国西八条西庄用水相論事、被遂対決之処、両方申詞無異子細之条、難休者歟、爰於神領西庄者、慈照院殿以来、至当御代、雖帶度々奉書、無糺明之沙汰、然每度及鉾桶物騒之儀、自他依不
1496年	7月17日	明応五年	五月二十八日	その他	壬生家文書	室町幕府文書集成2019	[室町幕府奉公人奉書 久世上下庄名主沙汰人中宛て] (2018号とほぼ同内容、省略)
1496年	10月2日	明応五年	八月十七日	その他：風害	拾芥記・日本野史	日本災異志	京都大風雨水
1497年		明応六年		その他	山城国上久世庄流田内檢状	教王7-2150	[上久世庄]流田内檢帳之事(十三筆略)
1497年	1月1日	明応六年	十一月三十日	その他	壬生家文書二 - 四四七頁	図書寮叢刊	[石井教安書状] (山城紀伊郡九条下司) …先以米残、只今皆済申候、是も損免等とて引へ置候儀候へ共、不及其是非、
1497年	8月9日	明応六年	七月二日	旱魃・渇水	親長卿記三	増補史料大成43	雨下、近日炎旱、土民愁傷、甘雨歟
1498年		明応七年		その他	山城国久世上下庄年貢米并公事錢算用状	教王7-2186	注進久世上下庄御年貢米算用状事…一、下久世庄…一石二斗一町当荒…
1498年	7月9日	明応七年	六月十一日	地震	曆仁以来年代記	続群書類従29下-P232	未時、大地震、
1498年	9月20日	明応七年	八月二十五日	地震	曆仁以来年代記	続群書類従29下-P232	辰刻、大地震、其程良久、從其、相続日々地揺、此時、伊勢国大湊悉滅却、其外、三川(参河)・紀伊諸国之浦津、高塩充滿、而
1499年		明応八年		その他	山城国久世上下庄年貢米并公事錢算用状	教王7-2199	注進久世上下庄御年貢米御算用状事…一、下久世庄…一石二斗一町当荒分

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1499年	10月8日	明応八年	八月二十四日	その他	東寺百合文書ニ	室町幕府文書集成 2137	[室町幕府奉公人奉書 東寺雜掌宛て] 善法寺雜掌申、八幡宮領山城国西八条西庄与東寺領同国久世上下庄以下五ヶ庄用水相論事、被遂糺明、雖被折中之、既西庄可不作之間、依難測神慮、去明応六年如元一円被返付社家、被成奉書之処、未休云々、太不可然、所詮、早任度々御成敗之
1500年		明応九年		疫病：その他	和長記	日本災異志	霖雨、天下疫癘
1500年		明応九年		疫病	東寺過去帳	東大写本	諸国在々所々疫病死亡輩数千人／明応九春比病死輩也
1500年		明応九年		疫病	東寺過去帳	東大写本	諸国在々所々疫癘死亡輩数千人
1500年		明応九年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代医学史の研究	諸国疫疾流行
1500年		明応九年		疫病	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P347	此歳、人多病死也
1500年	4月5日	明応九年	二月二十七日	地震	後法興院記四	統史料大成 8	去暁大地震
1500年	5月9日	明応九年	四月一日	疫病	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P176	将亦世間疫病充滿、以外也
1500年	6月24日	明応九年	五月十八日	その他：風害	和長記	日本震災凶謹攷	大風
1500年	8月6日	明応九年	七月二日	旱魃・渴水	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P179	晴、近日以外之炎天也、兼又彼猿万方于分行、京中乱満云々
1500年	9月1日	明応九年	七月二十八日	火災	和長記・厳助記・年代記抄節・日本野史	日本災異志	京都大火、柳原火起、延焼二百餘町一、公卿、諸司、尼寺、佛院、武辨、土庶二萬餘家、文書貨財多蕩盡
1500年	9月2日	明応九年	七月二十九日	火災	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P180	晴、早旦、各為見昨日之火事之処上洛、[ ] 歸日、関白御所并近衛・鷹司殿御所を始、日野・令泉兩家、其外公家廿八ヶ所也、於武家当時執権之輩、數十ヶ所、都合二万三千余ヶ所也、大略、一条之南北如荒野、焼死者不知其数、先代未聞之大火事也云々、伝聞、於関白家三代正
1500年	10月6日	明応九年	九月三日	風害	後法興院記四	統史料大成 8	去夜風新造殿悉転倒訖、…其外民屋処々損云々、
1500年	6, 7月 (6.7-7.6)	明応九年	五月	疫病	忠富王記	旱魃霖雨史料	炎旱并病事、御祈
1500年	6, 7月 (6.7-7.6)	明応九年	五月	その他：大雨	和長記	日本震災凶謹攷	霖雨
1501年	5月8日	文亀一年	四月十一日	冷害・雪害	厳助往年記上	史籍集覧 55	雷雨霰降、大如大梅、数剋不消云々
1501年	5月8日	文亀一年	四月十一日	冷害・雪害	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P347	雷雨、霰降、大如大梅、数剋不消云々
1501年	5月17日	文亀一年	四月二十日	冷害・雪害	皇年代略記	新校群書類従 2-P220	大雹降、栗如、
1501年	7月8日	文亀一年	六月十三日	その他：風害	実隆公記	日本凶荒史考	今日所々大概吹損云々
1501年	8月7日	文亀一年	六月十四日	その他：風害	大乘院寺社雜事記・大乘院日記目錄・実隆公記・言国卿記	綜覧 9-107	京畿大風雨
1501年	9月20日	文亀一年	七月二十八日	火災	分類本朝年代記	日本災異志	京師大火